

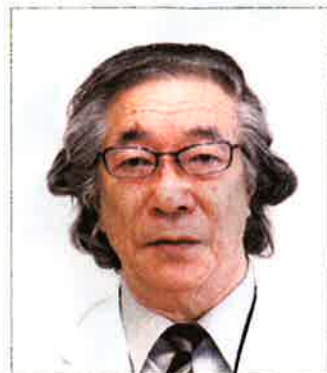
老健 しずおか

第13号

静岡県老人保健施設協議会機関誌



撮影：富士川河川敷
(桜えびの天日干風景)



静岡県老人保健施設協議会

会長

藤澤 弘 芳

ご挨拶

日の光、雲の様子には日増しに春らしさが感じられるようになってまいりました。老健運営に関わる皆様の日々のご努力には敬服の他なく、深く感謝申し上げている所でございます。

昨年は五月に本県で東海・北陸ブロック老健大会を開催することができ、盛況のうちに終えることができました。改めまして各位のご健闘に深く感謝するとともに、ご尽力いただきました関係者の皆様にお礼を申し上げます。

また本年四月からは、介護従事者の人材確保、処遇改善を柱とした大きな介護報酬改訂もございます。平成二十四年四月からの療養型病床群の改編とあわせて、介護老人保健施設も変革の年となることが予想されます。

このような社会制度の大きなうねりの中、静岡県老人保健施設協議会でも、少しでも会員の皆様のお役にたてるよう、一意専心の心持で頑張りたいとおもっております。皆様のますますのご発展、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。

ご挨拶



静岡県健康福祉部長寿健康総室
静岡県介護保険室長

佐野 龍 司

日ごろ、貴会及び貴会会員の皆様には、本県の高齢者福祉の推進に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、介護保険制度がスタートして九年が過ぎ、いくつかの修正が行われたものの、いまや高齢者が介護を要する状態になったとしても、できる限り自立した尊厳ある生活を送るために、なくてはならない制度として定着したものと考えています。

また、昨年は、年金・医療・介護といった社会保障の給付と費用負担に関して国を挙げて議論が行われたところであり、十一月には社会保障国民会議の最終報告が提出されました。この報告の中で、医療・介護費用についての試算が行われておりますが、その基本的な考え方は、「医療の機能分化を進めるとともに急性期医療を中心に人的・物的資源を集中投資し、できるだけ入院期間を減らして早期の家庭復帰・社会復帰を実現し、同時に在宅医療・在宅介護を大幅に充実させ、地域での包括的なケアシステムを構築することにより、利用者・患者のQOLの向上を目指す」とされております。

老人保健施設に関する今回の介護報酬の改定でも、在宅復帰支援機能加算や短期集中リハビリテーション実施加算が見直されましたが、病院と在宅の中間施設である老人保健施設のこれまでの取組み、役割が改めて評価された結果ではないかと考えています。

医療に限らず、介護の分野でもその技術や知見の進歩はとどまることはありません。

貴会及び貴会会員の皆様におかれましては、「生活適応期のリハビリ」を担う施設として、これからも益々御活躍いただくようお願いいたします。

○ タカネ園 ○

駿河湾を見渡せる小高い丘に建つタカネ園は、自然に囲まれ、季節の移ろいを感じ易い環境にあります。

施設内の各所に、毎月貼られる行事案内のポスター「上手にこしらえてるね」と、利用者様にも好評です。行事の企画、運営に際しては、季節や風習をふまえ、利用者様に楽しんでいただける様、創意工夫し取り組んでおります。行事以外にも、各種クラブやレクリエーション、ボランティアによる演芸他にて、利用者様のQOLの向上に努めております。

利用者様や御家族様に満足していただけるサービス提供を心がけ、これからも日々励んでまいります。



○ リバフル ケア ○

“自分の家族の一人が利用されている”そんな気持が全スタッフの思いです。そして明るく家庭的な雰囲気の中で、安心と生き甲斐のある毎日を送って頂くのが願いです。お一人お一人の心身の機能とお気持ちを織り込んでのケアプランのもと、ご本人自らが“自信と喜び”を重ねて頂く笑顔！ 私達スタッフはそんな笑顔を一緒に共感したいとの思いで日々のケアにがんばっております。



⇒田貫湖へバスハイキング。湖畔の散歩でたくさんの秋を見つけました

作業療法共同製作貼り絵“アンパンマン”散歩途中の保育園のこどもたちと⇒



水ぬるむ春、朝の散歩の途中に“オタマジャクシ”を見つけました⇒



⇒集団訓練のあとOT、PTによる個別リハビリテーション



○ ヒューマンライフ富士 ○

◎背後に雄大な富士山を仰ぎ、正面には駿河湾を見渡す静かな環境です。明るく広く機能的な空間です。

◎開設以来、人との触合いを大切に、抑制の完全撤廃に努め、調理実習・クラブ活動や外出の他に、季節ごとの諸行事をご家族、地域の方々と共に楽しく行っています。

◎職員一同、老健施設の機能と役割を目標にご利用者の皆様が安心できるサービスに努めています。



○ みくりや園 ○

当園は東に箱根、西に富士山と自然に囲まれた場所にあります。ひとたび窓を開けると、近隣の商店街の賑やかさや小学校のグラウンドから子供たちの元気な声が聞こえ、ご利用者の顔も自然とほころびます。

入所定員67名と、施設としては小さな規模ではありますが、その分ご利用者同士、スタッフとの交流も深く、これからも当園らしい温かみのある介護に努め“私もいつかはこの施設に…”と思える環境を提供していきたいと思ひます。

また、園内には習字・散髪・踊り・アニマルセラピー等のボランティアの方が見え、ご利用者も毎回楽しみにしています。習字では“書く”だけでなく、中には思いのまま“描く”方もいます。そのような時、改めて決められたことだけでなく、その人らしさを大切にして、これからも介護させて頂きたいと思ひます。



（節分）



（幼稚園との交流会）

。 安 寧 の 郷 。

『安寧の郷』は、ご家族や地域の方々から多くのご支援をいただき、開設より今年で15年を迎えることができました。当施設は、天城連峰を見渡す伊豆の山郷に位置し、春には桜、秋には銀杏など色や香りを愉しめる自然豊かな環境にあります。

利用者様には、“安寧で夢のある生活”を送っていただくため、豆まきやひな祭り、敬教会など時節に添った行事をご用意しています。また、昨年度は特に地域との結びつきを意識し、クリスマス会では近隣の幼稚園に、納涼祭や新年会では地域のボランティアの方々にご出演いただき、潤いのある楽しい時間を過ごしました。

今日のことは今日して差し上げるという「一期一会」の精神を基盤とし、喜びも不安も利用者様と共感できるスタッフでいられるよう、一同努めていきたいと思ひます。



。 富士ケアセンター 。

富士ケアセンターは、富士宮市の南部、明星山の麓に施設を構え、開設より15年目を迎えました。入所定員100名、通所定員60名の施設です。周囲を豊かな自然に囲まれ、施設正面に望む雄大な富士山は、四季折々、移り行く変化を毎日楽しむことができます。

併設病院(精神科)と協力し、認知症や精神疾患のある方への対応にも力を入れています。また、ボランティアの方のご協力を得て、楽しい時間を過ごすことができます。ご利用者が安心して楽しく日々生活できるように職員一同努めています。



(施設正面からの風景)

。 長泉ケアセンター 博寿園 。

今年で開設15年目を迎えます当施設は、訪問リハビリを開始して丸2年を迎えようとしています。地域の皆さまにはとても好評を得て利用者数も日々増加しております。日常の施設生活では、ご利用者様の意思及び人格を尊重した介護を行い地域に根づいたボランティアを含めた数々のレクリエーション等により快適にお過ごし頂ける環境を提供しております。

又、24時間365日休みなく診療を行う池田病院を協力病院とし緊急時の迅速な対応でご利用者様の健康と安全をお守りしております。

今後とも総合的でより良いサービスを皆様にお届け出来る様努力して参ります。



。 梅 名 の 里 。

「梅名の里」は、三島市街地の南に位置し、玄関を入ると目の前に大きな富士山が1枚の絵画のように見え、自然を感じられる施設です。今年で創立15年を迎えようとしています。地域の方々に支えられ、医療・保健・福祉を総合的に提供できる施設へ成長して来ましたが、高齢化社会はさらに進んで行きます。どのような時代の変化があろうとも、梅名の里は地域での明るい光になりたいと思ひます。目ざすは、利用者様や御家族の『笑顔』です。ひとりひとりの尊厳と自立を、ケアの現場から支援して行きます。

梅名の里の職員は、利用者様や御家族の生活を『笑顔』にすることを働きがいにし、日々頑張っている所です。



。 あ す な る 。

あすなろは、今年で14年目を向えます。開設当初より、一貫して地域に開かれた施設づくりを目指してきました。

今では、地域包括支援センターあすなろ、フジ虎ノ門居宅介護支援センター、ショートステイたんぼぼ、グループホームふれんど、フジ虎ノ門訪問介護センター、訪問リハビリテーションあすなろが併設されています。

これからも、地域社会の拠点として貢献できるよう日々努力してまいります。



。 お お ひ ら 。

当施設では老健には珍しい「家族会」を発足して5年になります。毎回多くのご家族の参加をいただき、第20回の開催を迎えることができました。

その中でもご紹介したいのは地域貢献への一環として美化活動を行った事です。強風という悪天候の中でしたが、二班に分かれて施設周辺の美化に努めました。

「家族」「施設」「利用者」それぞれが有意義な交流を重ね「家族」にとっては施設をより身近に感じ、「施設」にとっては利用者へより良質なケアの提供に役立て、そして「利用者」にとってはより安全で快適な生活を過ごすよう協力しております。



。 き き ょ う の 郷 。

私たちは『自らが受けたいと思う医療と福祉の創造』を理念に掲げ、求められるニーズに応えるための努力をし、最後までサービスを提供する使命と責任があるとの基本姿勢を持っています。

どんなに年をとっても、どんなに障害があっても、人としての尊厳が守られ、あたり前の生活を送ることができるよう支援することをめざしています。多職種の職員がチームを組み、それぞれの専門性を発揮し、信頼し合い、必要とし合う良好な関係づくりによって利用者の生活支援が良質な環境になると考えています。

働きがいがあり、働きやすい環境整備を通じて、ケアの質向上をめざしています。



。 熱海ナーシングホーム翔寿園 。

お年寄り各個人とその御家族（介護者）の心身の状況や、病状に合わせたリハビリテーションを中心とした医療サービスと、レクリエーションや教養娯楽のための催し物等の、生活サービスを行い家庭的な雰囲気を保ちながら家庭復帰の支援をします。



。 の ゑ み 。

当施設は、戦後の日本を代表する童謡『みかんの花咲く丘』のモデルとなった伊東市宇佐美にあります。歌の通り、みかん畑にかこまれた豊かな自然とともに、今年で10年目を迎えることができました。

入所定員100名（短期入所4名含む）、通所リハビリ20名、併設で居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、また一昨年には敷地内に当法人の診療所『伊豆のさと』がオープンいたしました。透析治療を主としており、当施設でも透析加療中の方の受け入れを行なっております。

また、講師を招いての押し花教室や月1回和室でのお茶会、外出企画等、ご利用者の皆様に楽しみや目標を持って生活していただけるよう、職員一同日々取り組んでいます。



▲押し花教室の作品

。 ラ・サンテふよう 。

ラ・サンテとは『健康』を意味するフランス語です。利用者の方たちが健康でいられるよう、全ての職員が情熱をもってケアに取り組んでいます。

私たちの施設は、三島市北部の高台(芙蓉台)に位置し、北は富士山を、西は駿河湾を望む絶景の場所です。

全ての職種が連携をくみ、在宅復帰・在宅生活支援のための短期・集中的リハビリテーションを展開しています。また「身体拘束ゼロ宣言」を行い、利用者様の人権を尊重したケアに努めています。パワーリハビリテーションによる活動性の向上や、管理栄養士による栄養相談、歯科衛生士による口腔ケアなど介護予防にも積極的に取り組んでいます。リハビリだけでなく、利用者の方たちの生活の彩りと日々のレクリエーションやクラブ活動も活発に行っています。ボランティアの方たちも多数訪問されて、毎日楽しく和やかに過ごしていただいています。



。 河津おもと苑 。

今年の“河津桜”は、何時になく早く、すでに満開を迎えています。町内のあちこちが濃いピンクに染まっている様は圧巻です。利用者様の“お花見”も始まります。

当苑も開設10年目に入りました。入所50床（認知専門棟20床、ショート4床）、通所リハビリ12名の老健協会の中でも小規模の施設ではありますが、地域における中間施設としての役割を手さぐりで担ってきたつもりです。

介護保険も今春大きく見直しされます。現場の人材不足等取りざたされそれらが反映されるということですが、現在の世情を考えますと必ずしも楽観できるとは思えません。又医療現場の崩壊ともいえる状況も起っており、老健施設も今後、どの様に様変わりしていくのか先行き不透明であることに変わりないと思われれます。

そんな中“初心忘るべからず”で、小さいながらも、利用者様個々のケアにもようやく目が向いてきたものを更に確立させていきたいと思ひます。



。 みゆきの苑 。

みゆきの苑は平成11年4月、富士山をのぞむ富士宮市内に開設されました。

入所定員は109名（内認知症専門棟36名）、通所定員は70名で併設施設に南富士病院がござひます。

「明るく家庭的な雰囲気の中、笑顔と温もりに溢れた療養生活を送り、利用者の一日も早い家庭復帰を目指した地域社会に開かれた施設の運営」を理念として職員一同心を一にしております。

毎月開催される「お誕生会」や四季折々に行われる各種イベントには地域のボランティアの皆様方にもご参画いただき、毎日楽しいひとときを過ごしてひます。



。 な ぎ さ 園 。

当施設は、伊豆半島南端に位置する介護老人保健施設として、平成13年4月に開設し、今年で9年目を迎えます。

海と山に囲まれた静かで、暖かい気候の中、なぎさ園の理念である「手から手へ心から心へつなげる施設〜心地よい生活空間を〜」をモットーに、日々スタッフ一同、一丸となって取り組んでいます。

また、伊豆半島南部の唯一の公的病院である共立湊病院が併設し、協力病院として、緊急時における支援体制も整っています。

安心と安全を考慮し、地域に根ざした施設として、笑顔あふれるサービスを提供しています。



。 し お さ い 。

しおさいは、平成12年4月に開設し、今年で10年目を迎えます。健育会のビジョンであるクライアントの“心を豊かにする”、そして当施設のモットーである“もう一つの楽しい家”に重きを置いた施設環境の整備に職員一丸となって取り組んでいます。入所定員46名、短期入所定員4名、通所リハビリテーション定員30名、訪問リハビリテーションの施設です。又、急性期の病棟を備えた24時間体制の協力病院「西伊豆病院」が隣接しているため、緊急時における援護体制も整っています。今後も老健の理念、役割と機能を基に地域の皆様に『質の高い医療・介護サービス、そして、安心』を提供していきます。



。 グリーンス修善寺 。

グリーンス修善寺は、平成14年4月に開設し、新年度から8年目に入ります。

伊豆市役所の前に位置し、入所定員100名(うちショート10名)、通所リハビリ定員30名の施設であり、伊豆市で唯一の老健施設として地域の期待をになっています。

人道、博愛の赤十字精神のもと、ご利用者のお気持ちと人格を尊重したケアサービス、清潔で快適な生活空間、おいしい食事の提供に努めております。

特に伊豆赤十字病院に併設されているため医療面では恵まれています。

今後共地域の皆様に親しまれ、ご利用者にご満足いただけるサービスの提供ができる施設となるよう、職員一同、より一層の努力を重ねてまいりたいと考えております。



。 ひ ろ み 。

当施設は、自宅に居るのと変わらない住環境の中で「自分が利用したいと思う施設を目指して」というひろみの理念の下、平成14年4月1日にスタートしました。

年を取ると共に、個人差はあるものの身体に様々な変化が生じ、食生活にも大きな影響を及ぼします。それぞれの状態に合わせて、食生活を工夫していく必要があります。

人間の基本的欲求である「食べる楽しみ」を重視し、低栄養を改善予防し、生活機能を維持向上させ自己実現のできる喜びを味わう事を目標としています。その為に良い食習慣の中で、“食べたか、出たか、寝たか”に気を配り、いくつになっても、食事を“おいしい”と感じて味わって頂きたいと思っております。



マグロの解体ショーに興味深く見つめる利用者⇨

。 椎 路 の 里 。



椎路の里は、開設7年目を迎えます。

「ところのかよう親切、和やかで快適な環境、清潔と安全」という法人理念のもと、毎日の利用者様とのふれ

あいを大切にしております。当施設の特徴として、屋外に果樹園や園芸広場があります。そこでは四季折々の花や野菜を栽培する園芸療法の取組みや、屋外活動として、季節を感じながら入所・通所利用者合同でお散歩や屋外行事食を味わっています。施設菜園場で収穫した野菜を使って、芋煮会や焼き芋大会、又お正月には昔懐かしいどんど焼き、メンコ、コマ回し等お正月の遊び等も行っています。利用者の皆様の交流の場、そして溢れる笑顔を見せて頂けるくつろぎのひと時として取り組んでいます。これからも心と体充実した生活が過ごせますよう、一層の努力を続けて参ります。



。 サ ン 静 浦 。

サン静浦は、西に静浦漁港と駿河湾、東に沿津アルプスの山並みを見渡す場所に位置します。また、施設のお隣りにはコンビニや銀行もあります。バス停まで1分と、何かと便利な所にあります。

利用者様の毎日は、個人個人のリズムに合わせ生活して頂きたいと、施設職員全員で願い、取り組んで参ります。

おいしい食事の提供と楽しいレクリエーションやクラブ活動、月毎の行事など利用者様に楽しく過ごして頂けるよう、職員みんなで考え取り組みます。

メリハリのある生活と、個別リハや生活リハを通して、健やかにお過ごし頂きたいと思ひます。



。 みゆくアセンダーわか葉 。



雄大な富士の裾野にボランティアや地域の人々に支えられて5年目を迎える事ができました。これからも開かれた施設を目指し、職員一丸となって取り組む所存でおります。

◎運動療法士・作業療法士・言語聴覚療法士の充実したリハスタッフのもと、利用者様の残存機能を生かし、自立へ向けてのリズムある楽しい生活リハビリに重点をおいています。

◎医食同源の考えのもと、満足感のある食生活の充実に全スタッフが関り、安全で美味しく季節感のある食事は喜ばれています。

◎健康管理については、隣接する病院の支援を得て養生・看護・治療と「わか葉」のように生き生きと生活して頂くよう努めています。

◎認知症棟は穏やかな毎日を通して頂くようプロスタッフが心いっぱい支援しています。

◎一年を通じてお花見・納涼祭地域交流を兼ねた月行事、ボランティア行事、クラブ活動等、生活の変化を大切に、医師から清掃洗濯の専門スタッフ一同が、清潔で安全な環境の提供と、明るく笑顔いっぱいの日々を過ごして頂けるようサービスを提供しています。

。 夢 の 樹 の 郷 。

平成15年4月に開設。富士山を正面に、柿田川の近くに位置した、入所定員100名(内、認知症専門棟40名)・通所定員60名の施設です。「一期一会の精神」が基本理念として、その日その日がとても大切に思い、職員一丸となってサービス提供を行っています。また、一年を通して季節ごとの催しを地域の方々のご協力を得ながらご利用者に楽しんで頂ける活動もしております。

これからも、地域の皆様に親しまれ、ご利用者やその家族にも満足して頂ける施設となるよう職員一同、より一層の努力を重ねてまいりたいと考えています。



○ みはらし ○

伊東市介護老人保健施設みはらしは、平成18年4月1日に伊東市の介護老人保健施設として社団法人地域医療振興協会が指定管理者の指定をうけ開設し3年が経ちました。



施設の利用定員は、一般入所85名、認知症40名の合計125名(短期入所含む)、通所リハビリテーション30名となっております。

施設の理念「利用者の皆様の個性を尊重し、安全に配慮しつつ生活機能の維持・向上を支援し、在宅での自立を支援します」のとおり、温泉を利用した個別浴、個別リハビリ、栄養ケアマネジメントに重点を置いた利用者一人ひとりにあった介護計画を基に、常に安全に心がけ、ご利用される皆様が生き生きとした在宅生活を送れるよう、地域の皆様のご協力のもと自立に向けて共に支援してまいります。



○ いかる野 ○

当施設は、富士山の麓、白糸の滝上に位置しており、施設の展望テラスからは日本一の富士山をすそ野まで見下ろすことができます。

入所は定員100名、通所は定員40名で施設内に居宅介護支援事業所フジヤマがあり地域に根ざした信頼されるサービスを提供したいと考えております。

また、施設スタッフは安心のある毎日を過ごして頂くために、お一人お一人の心身の機能とお気持ちや願いを大切にし、自分の家族の一員が利用されているこんな気持で毎日、ケアに取り組んでおります。



○ いとうの杜 ○

「いとうの杜」も開設2周年を経て、地域の皆様からの多大なるご協力を頂き無事3年目を迎える事が出来ました。当施設はJR伊東駅から徒歩2分、青い海と緑の木々に囲まれた生活の利便性と自然が融合した恵まれた環境の施設です。ユニットフロアや認知症専門フロア、個室や多床室等も含め様々なお部屋(135床)をご用意しており、ご利用者お一人お一人に合わせた生活環境の整備やケアに取り組んでおります。また、温泉浴を取り入れたリハビリテーションや新鮮なお刺身や行事食の提供、餅つき大会や夏祭り等、地域の皆様と一体となり、様々なイベント等も行なっています。在宅サービスでは、短期入所生活介護専門フロア(21床)や居宅介護支援事業所、訪問介護ステーション等を併設しており、入所前から退所後のサポート迄させて頂いております。湯と自然の町としても有名な伊東市。伊東にお寄りの際には、是非「介護老人保健施設いとうの杜」にもお立ち寄り下さい。職員一同心よりお待ちしております。



○ ふれあいの下田 ○

伊豆半島の南端に位置し、下田湾を見下ろす丘の上に建つ介護老人保健施設です。

施設内の全ての蛇口とトイレの明かりはセンサー式で人に優しい、最先端の施設です。



☆ホームページはこちらから
<http://www.fureai-g.or.jp/fshimoda/>

あかつきの園

当施設は開設18年目を迎えております。利用者の長期化・重度化が進み、特に認知症の方の割合が増えております。在宅復帰の難しい方も多く認知症の方は特に一人一人の方に合った対応が求められています。看護・介護職員配置体制が日により厳しく、少ない人数ながらもより良いサービス提供を心掛けております。毎月行っている誕生会ではその季節に合ったイベントを企画しています。ボランティアの方の受け入れを行っており、夏祭りでは演歌歌手、クリスマス会には高校生に来て頂き演奏会を開きました。定期的に音楽、動物ボランティアが訪問してくれています。今後もボランティアの方を積極的に受け入れていきたいと思っております。

通所リハビリテーションの定員は10名で小規模ですが一人一人に合った個別ケアに重点をおいております。体調を崩され入院される方、ADL悪化される方が増えてきています。利用者・御家族の要望になるべくお応えし通所・ショートをうまく活用して頂きながら在宅生活の援助をしていきたいと思っております。



ケアセンター瀬名

ケアセンター瀬名は、平成元年に静岡瀬名病院の併設施設として、竜爪山を望み閑静で緑豊かな環境でスタートしました。静岡バイパスから車で10分の距離に位置し、交通アクセスも便利です。

当施設では、入所者及び通所リハビリテーションの通所者向けに、様々なクラブ活動を行っています。従来の書道、貼り絵、カラオケといった定番のクラブに加え、押し花、手芸、刺し子、お料理、園芸といった作業リハビリにつながるクラブ活動を積極的に行っています。また1年を通じて、様々な催しを地域のボランティアの方々の協力を得ながら提供し、入所生活の活性化に役立っています。

これからも、充実した介護サービスの提供を目指し、併設の静岡瀬名病院、ケアハウスレインボー瀬名をはじめとした関連施設との連携をはかり、地域に根ざした施設運営をしていきます。



焼津ケアセンター

焼津市にあります老健です。入所150名、通所リハビリテーション60名の定員です。

リハビリには、とても力を入れており、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が日々、通所利用、入所利用の方に個々に応じたリハビリを提供しております。また、通所リハビリ利用の方には、県内にはめずらしいプールリハビリを行っており、下肢機能訓練、バランス訓練等に役立てております。看護師、介護職員も充実しており、日々、個々のニーズに合わせ、質の高いケアの提供を目指しております。心とからだ、やさしさに包まれて。



ケア・センターひまわり

当施設は静岡市清水区の中心部に在り、JR清水駅からはバスで約15分。清水の次郎長の墓で知られる梅蔭寺からは、徒歩約10分と交通の便にも大変恵まれた場所に位置しています。

当施設ひまわりは、在宅の要支援の方から要介護5までの方に対し、看護、介護、リハを中心とする医療ケアと日常生活のサービスを提供させて頂いています。

またレクに於いても毎月第二火曜日14時から約1時間、習字の先生を招き、利用者さんと楽しい時間を一緒に過ごして頂いています。もちろん達筆か否かは全く関係なく、要はハート、情熱をいかに持って半紙に向かうかと言うことです。

先生はその日、1番心のもった、よく頑張って書いてくれた人を選び、先生自らが色紙に「お誉めの言葉」を書いてそれを、「ひまわり賞」として贈らせて頂いています。

今後とも利用者さんと一体となり、活気あふれる「ケアセンターひまわり」を目指しています。



。 サンライズ大浜 。

当施設は、開設14年目を迎え、より一層ご利用者様お一人お一人のご希望やニーズに合わせた、質の高いサービスの提供を目指し、努力してまいります。

併設サービスに通所リハビリテーション、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を持ち、本体である介護老人保健施設と松生整形外科医院と共に地域の皆様に介護や医療サービスを提供してまいります。

アクティビティーの充実にも、力を入れており、恒例の秋祭りをはじめ、動物園や水族館見学、お花見、紅葉見物等のドライブも行なっています。

また、ボランティア活動の受け入れも行なっており、七夕やクリスマス会などには、近接の幼稚園児の皆さんに歌や踊りをご披露いただいています。



▲春のドライブです!



▲クリスマス会です!

。 コミュニティーケア高草 。

当施設は焼津市の高草山のふもとにあります。緑が多く、春になれば梅、桜などが咲きとても良い所です。平成8年4月に開設し、今年で13年目になります。

今回は文化週間を紹介します。

11月初旬から中旬の10日間、職員全員の作品とほとんどの利用者が一年間で作った作品を1階フロアや廊下に、壁画、書道、陶芸、小物、一年間の行事の写真など飾りとても華やかになります。

期間中は何回も何回も見に行き、自分の物があると、とてもうれしそうな笑顔を見せてくれます。文化週間を楽しみにしている方もあり、「家で作ったけど、持ってきていい」などの声も何人かから聞かれる様になりました。

これからもずっと続けていきたいと思ひます。



。 こみに 。

当施設は一般棟、認知症専門棟、入所定員186床。またデイケア、居宅介護支援事業所や訪問看護を併設しており利用者が楽しく、安心して在宅、施設生活が送れる様に職員全員が自分ならどんなサービスを受けたいか、どんな人に援助してほしいかを考え、相手を思いやる気持ちを大切に日々努力しています。

こみには同施設内にNPO法人しずおかウィズがあります。その事業の中に喫茶の経営や児童クラブのしずおかキッズ倶楽部があり、「こみに」の利用者様と子供達がふれあい、お互いに楽しく活動しております。喫茶は利用者様はもちろん職員や地域の方々と幅広くご利用いただいております、これからも地域に根ざした施設として様々な繋がりを大切にしていきたいと思ひています。

お近くに来られた際は是非お立ち寄り下さい。



。 楽 寿 。

当施設は、楽寿の国高齢者総合福祉エリアの各施設、地域の行政、医療機関等との密接な連携により、ご利用者の状態に沿った適切な介護の調整を図り在宅復帰を目指し、ご利用者やご家族の相談に応じ、様々な情報を提供するとともに、退所後の万全なアフターケア体制を整えています。また、「高齢者への尊厳」という法人の理念に基づき、ご利用者お一人おひとりの思いを大切に、ケアを提供するよう心がけております。お花見、節分、ひなまつり、夏祭り、運動会などの季節の行事や、レクリエーション等を通して、家庭的な雰囲気を保ち、楽しく豊かな施設生活を営むことが出来るように努めると共に、ご利用者の「自分らしさ」を引き出せるよう、ケアに努めております。



○ カリタス・メンテ ○

当施設は、平成9年5月に開設し、入所者50名、通所者20名と規模は小さい施設ですが、3年程前から終末期ケアに取り組み、利用者様・ご家族とのふれあいを一番に考え、「安心して、笑顔で穏やかに過ごせる生活の場」となるよう、各職種が協同し、日々努めております。

今後も、皆様から信頼され、心の通い合える、暖かみのある施設となるよう努力してまいります。



○ ケアセンターゆうゆう ○

当施設は、平成9年に開設し今年で12年目を迎えます。「自らが利用したいという施設に看・介護をとおし創りあげること」を理念とし、入浴、食事、排泄及び日常生活サービスを提供するとともに、季節の行事、レクリエーション、娯楽等を通し、利用者様一人ひとりに適した質の高いケアの実現を目指しています。

通所リハビリテーションでは、予防介護を主眼とし、専門療法士によるパワーリハビリや個別リハビリの提供、歯科衛生士による口腔機能の向上、管理栄養士による栄養改善等に積極的に取り組んでおります。



○ エコトーフ ○

エコトーフ(=自然環境の場)は、その名のとおり東は大井川に隣接し西には緑豊かな山々が展望できる豊かな環境にあり、施設内のビオトープ仕立ての中庭は、常に小鳥がさえずり、お年寄りがゆったりとくつろげる落ち着いた雰囲気を醸し出しております。

昨年の開設10周年を契機に、これまでの実績を踏まえ「利用者本位の介護」「全員参加の介護」に更に研ぎが加かるよう職員一同新たな気持ちで頑張っております。

施設の規模は、入所定員150床、通所リハビリ定員40人、併せて居宅介護支援事業所の運営を行っております。施設の前にある霊験あらたかといわれる「日切地藏尊」にお参りの折には、是非気軽にお立ち寄りください。



○ グリーンヒルズ藤枝 ○



藤枝市の北部郊外で瀬戸川の清流と緑豊かな自然に恵まれた当施設は、聖陵リハビリテーション病院を母体とし、施設入所(短期入所療養介護を含む)100名、通所リハビリテ

ーション75名の定員にて運営し、医学的管理の下、訓練士7名によるリハビリテーション、看護、介護その他必要な医療や日常生活上の支援をしながら居宅生活への復帰を目指しています。このほかに訪問介護(正職員3名、登録7名)、通所介護(利用定員45名)、訪問リハビリ(正職員2名)、居宅介護支援(2事務所、ケアマネ6名)、地域包括支援センター(正職員3名)を運営しています。平成21年5月には2ヶ所目の通所介護事業所を開設します。利用者が「にこやか」に「個性豊かに」過ごすことができるよう常に創意工夫しサービス提供に努めています。利用者の笑顔がいつでも見られ活気のある日々が送れるよう職員一同頑張っておりますので、施設見学等皆様方のお越しを心よりお待ちしております。



。 アリス草薺 。

当施設は、介護保険制度施行の前年、平成11年11月11日に開設され、今秋10周年の佳節を迎えます。この間、地域の人に支えられ、着実に歩を進めることができました。

当施設10年の歩みを見守り、ともに歴史を重ねてきたのが、施設の建物を囲むように植えられた西洋菩提樹の木々です。日独文化交流育英会によりドイツから寄贈されたもので、開設に合わせて植樹され、以来、当施設のシンボルとして親しまれてきました。

その菩提樹の木々が、3年ほど前から初夏にクリーム色のかわいい花を咲かせ、ご利用者を喜ばせています。

西洋菩提樹の花は珍しく、新聞やテレビにも取り上げられ、地域の人が見学に訪れています。中には市外から来られる方もいました。

菩提樹をはじめ、施設敷地内には、ご利用者と職員が一緒になって育てている花々など、花や木がいっぱいです。周囲も緑に囲まれ、自然に恵まれています。この美しい環境を大切に、これからも着実に歩んでいきたいです。



。 アポロン 。

島田市の中心部にある当施設は、おかげさまで開設10周年を迎えました。地域の皆様と共に地元に根付いた運営をし、利用者様の在宅復帰を目指して日々精進しております。

施設の理念である①家庭復帰を目指します。②明るい家庭的な雰囲気を大切にします。③地域や家族との結びつきを大切にします。④自立した生活を支援します。を目標に、日々の生活やレクリエーション、季節の行事を通じて笑顔の絶えない毎日を利用者様と共に送っています。

また、在宅復帰を目指し、日々のリハビリテーションに力を入れ、在宅に帰られた方々の生活も訪問看護・訪問介護・通所リハビリ・居宅介護支援とトータル的に支援させていただいております。

最後に「アポロン」の由来ですが、ギリシャ神話に登場する医学や音楽を司る神の名前です。高齢になっても夢や希望を忘れないで、前向きな人生を送ってほしいという願いから名づけられています。



。 はるかぜ 。

「はるかぜ」も10年目という節目の年を迎えます。牧之原市唯一の老健施設として介護サービスの提供を行い、地域の皆様に貢献しています。

海、山と自然に恵まれた牧之原市におきましても、いよいよ待望の富士山静岡空港の開港を迎えます。国内外から多くの人達がこの牧之原市及び静岡県を訪れることでしょう。

また、一方では厳しい労働環境に置かれている介護施設にもようやく微かな陽の光が差し込みはじめます。この機会を捉え、この「はるかぜ」が地元に貢献できるよりよい介護施設になるよう研鑽をしております。

医師・看護師・介護士・PT・OTを中心とした医療、介護、個別リハビリテーション介護スタッフが創意工夫した季節行事・集団レクリエーション・ドライブ、施設全体で行う納涼祭・クリスマス会等、いろいろな催しを通じ利用者一人ひとりが輝き、生き生きと生活できるよう「はるかぜ」職員全員でサポートしています。この地に「はるかぜ」があって本当によかった、と皆様にいわれるよう努力をしております。



。 萩の里 。

当施設は、平成12年4月に開設し、本年度で10年目を迎えることができました。サービスは施設入所（100床）・通所リハビリテーション（85床）をはじめ、短期入所療養介護（ショートステイ）・訪問看護・訪問介護・訪問リハビリテーション・居宅介護支援事業所の運営を行っております。また、同法人で療養型病院・障害福祉サービス事業所も隣接しております。地域に根ざした医療・介護・福祉の3本柱で総合的なサービス提供体制を築き上げていくことを目指しております。

身体的なリハビリテーションはもとより、カラオケ・園芸療法も喜ばれております。利用者の方々に充実した時間を過ごして頂き、満足感を持って頂けるような施設作りに努力していきます。



。 葵 の 里 。

ようやく春が来て日の光も暖かく感じられるようになりました。葵の里の冬を彩っていた、たわわに実った裏の蜜柑山もすっかり収穫され農家の人が小鳥用に残した数本の木に目白が群がっています。

葵の里がある用宗の梅林はもう満開です。これからの季節は花見から始まり鉄板焼き、お出かけなど行事が目白押しです。それらの行事を盛り上げるのが職員の唄、芝居、ハンドベルや三味線などの演奏です。

葵の里の開所は平成12年9月です。もう9年目です。ベテランと言うほどではないけど失敗や不出来を経験不足のせいには出来ない年数です。幸い職員は年々その腕を上げ近年安心して見聞きされています。今年も大いに行事を盛り上げてくれるでしょう。



。 きよみの里 。

薩埵峠の麓の高台に位置し、南には伊豆半島、駿河湾を一望できるとても景色が良い事・ゆつたりと広々とした部屋が自慢の施設となっております。

“個々の利用者様を大切にしたいケアサービスを提供し、地域の人々が安心して暮らせる老後のお手伝い”が施設の理念であり、利用者様個々に合わせたりハビリの実施や、看介護による毎日のケアを実施しております。また、毎月行われる趣向を凝らした誕生会や、夏祭り、クリスマスコンサートなどの行事も行っております。

今後とも、家庭的な雰囲気の中で、利用者様に喜ばれ満足していただける施設を目指していきます。



。 あ み 。

当施設「あみ」は、当初より地域密着を掲げて地域の皆様に少しでも貢献できるような施設を目指して、職員一丸となって頑張っております。

その具体策の一環として、高齢者の方々に日頃の生活の中で、注意してほしい事柄、例えば、「インフルエンザの予防・転倒予防・便秘対策・入浴時の危険なこと・糖尿病・骨粗しょう症・食事のこと」等について、看護師の職員が予防介護の一助になるように毎月通所リハビリテーションで「ナースの話」を行っています。このことを地域の老人会会長様に会員の皆様にも来ていただくようにお話をしましたところ、皆様が連れ立って、話を聞きに来て下さり、「大変わかりやすく話して頂くののためになる」との好評を得て、その後も毎月出席頂いております。

これからも、利用者様そして地域の皆様にいろいろなかたちで寄与できるように研鑽をして参ります。

「あみ」は、静岡市街から安倍街道を北へ車で約15分程の所に位置し、自然豊かな地域にあります。



。 芙蓉の丘 。

芙蓉の丘は、平成13年6月に開設し、今年で9年目を迎えます。“あなたの笑顔を見せて下さい。私たちの笑顔を見に来て下さい”を理念に掲げ、明るく活気のある施設を目指しています。

昨年より認知症専門棟では、タクティールケアを取り入れました。利用者様との個別の関わりで安心感や穏やかさをもたらせるようなケアを心がけています。

入所一般棟では、日常生活に即したトレーニングとして、障害物サーキットに取り組んでいます。利用者同士が励まし合い楽しい雰囲気で行われています。

通所リハビリでは、利用者様に人気の高い健康体操がバージョンアップし、より高度なトレーニング内容になりました。

芙蓉の丘は、利用者様一人ひとりが目標を持ってその人らしく生活できるように、職員一同でサポートしています。



。 さ く ら 。

さくらは150床に増床して3月で1年がたちます。通所・入所の利用者様全ての方が楽しく笑顔で過ごせるようさまざまな行事・活動を行っています。その中で二つの活動を紹介します。

先日「もちつき大会」が行われました。男性利用者様は杵を手に取り、女性利用者様は返しをしたりと昔とった杵柄を思い出したように職員に指導する腕前でした。出来上がったおもちはお好みできなこやあんこをつけて食べて頂きました。

2つ目は「アニマルセラピー」です。動物病院とボランティアの方に協力して頂いて、犬や猫にふれることで癒され他の利用者様ともコミュニケーションをとることができました。普段見れない表情を見ることができとてもよい刺激になりました。イベントを行うことで御家族様、利用者様との関係を密にでき交流の場となりました。今後も利用者様に施設内で充実した時間を提供できるよう職員一同一層努力していききたいと思います。



。 コミュニティーケア吉田 。

当施設ではリハビリテーションはもとより、御利用者様が心身共に健康で楽しく過ごしていただくために、行事や様々な活動にも力を入れています。今回は当施設で取り組んでいる「音楽療法」について紹介します。

音楽療法は週に一回、音楽療法士の先生が指導していただきます。唱歌や演歌を歌ったり、鈴や、太鼓、鳴子を用いて大合奏します。感動して涙を流す利用者様も少なくありません。

楽器を用いることにより、手先の動作のリハビリになることはもちろんのこと、みんなで一つの作品を完成したという達成感があります。又、昔の音楽を通じて利用者様の昔話など、楽しく交えていくと、時間がたつのも忘れてしまいそうです。

私達スタッフは、この音楽療法を通じて、利用者様の心が癒され、脳も活性化され、そしてそれが「希望」につながっていただければ願っております。今後も利用者様の笑顔が少しでも多く見られるように、楽しい活動を増やしていきたいと思っています。

。 フォレストタ藤枝 。

当施設では「信頼・安心できる思いやりのある医療・福祉環境づくり」を理念に掲げ、手厚く細やかな介護、充実したリハビリテーションを目標としています。リハビリについては、利用者様の心身機能の維持回復はもちろんのこと、一人一人に適したプログラムを組むなど個別重視の訓練を提供しています。

その他、季節に合った様々な行事を行っています。8月には駿府夏祭りを開催し、地域ボランティアの皆様のご協力のもと、大道芸、和太鼓、学生吹奏楽などの催し、夜店を多数並べて盛大に行っています。皆様是非お越し下さい。



。 マ イ ン ド 。

平成15年11月に開設しました。入所者150名（一般棟102名、認知症専門棟48名）通所者40名の施設です。

6年目を迎え、利用者さんがより楽しく生活出来る施設を目指しております。

その一つとして、レクリエーションの充実を図っています。藤枝の恵まれた自然を楽しんで頂こうと、春はお花見、夏はホテル観賞、秋は紅葉狩り等に出かけました。

施設内では、お茶会、生花展、喫茶等を開催しています。法人の理念である「心の通い合う温かい介護」をモットーに職員一同頑張っています。



○ケアセンター池田の街○

「ケアセンター池田の街」は静岡市3区の中央に位置する東静岡地区に平成17年4月にオープンした入所定員110名・通所リハビリテーション定員40名の施設です。

交通至便な街中にありながらも、四季を通じ様々な花が咲く屋上庭園や各療養室の窓からは富士山や日本平も眺望でき、喧騒を忘れ穏やかに癒される「都市型」老健施設です。

笑顔のたえない明るい雰囲気の中でご利用者様には個別性の高いリハビリテーションを重視し、季節の行事や様々なイベントの実施、日々のレクリエーションなど楽しみながら心身機能の維持向上を図って頂ける様配慮しております。

今後も「やさしさに支えたい、守りたい」の理念のもと、常にご利用者様の視点に立った温もりあるケアの提供を目指し、一層の努力を重ねて行きたいと考えております。



○かりん○

介護老人保健施設かりんは、静岡市駿河区宇津ノ谷峠の山々に囲まれた緑豊かな環境の中にあり、入所100床、通所リハビリテーション20名のサービスを提供しております。

当施設では開設以来、毎年介護テーマを設け、より良い介護の実現に向け、職員が知恵を出し合い取り組んできました。

昨年はインフルエンザ等の感染予防として施設内ではマスクの着用を励行しました。既製の白いマスクでは気分も沈みがらだという発案のもと、ご利用者・職員とが手作りでユニークなマスクを着用することで、利用者と職員から笑顔がこぼれ、施設全体が明るく楽しい雰囲気になりました。また、この手作りマスクはテレビニュースにも取り上げられ多くの反響を頂きました。

このように私達は、これからも創意工夫を行いながらご利用者から喜ばれる施設となるよう努力してまいります。



○ユニケア岡部○

私達は「ソフト食」に取り組んでいます。目と舌においしさを感じ、食べやすい形状で誤嚥の危険を減らし、栄養バランスのとれた献立が生命を支える。その思いから昨年よりソフト食を始めました。

施設の様々な職種が知恵と工夫と思いを持ち、研究と試作を重ね、レポートをを広げつつあります。「おいしく」と「安全」をめざし、利用者様に喜んでいただくよう取り組んでいます。

同時に、ユニットケアの利点を生かした、「ごはんの炊ける匂い」「ユニットでの調理」お一人、お一人の好みにできるだけ合わせたり、生活リズムに添えるお食事をと心掛けています。

今後は「選択メニュー」への取り組みと、自宅で張り切って暮らしていた頃の料理作りの再現でお元気になる



食事をめざしていきたいと考えています。

○鶴舞乃城○

～その人らしい生活にお応えします～

鶴舞乃城は、清水インターから北へ車で約5分程の場所にある小高い山の中腹に平成19年4月1日に開設しました。

現在は、入所100名(短期入所療養介護を含む)通所リハビリテーション40名、居宅介護支援事業所を運営しております。

その方らしい「生活習慣」や「こだわり」を大切に、お一人おひとりの状態や目標に合わせたケアを行います。年齢を重ねれば誰にでも起こりうる心や身体の機能障害を個性ととらえ、ご本人様はもちろんご家族の皆様にも安心していただける介護を目指しています。



○ 三方原ベテルホーム ○

聖隷三方原病院の併設老健として平成3年4月より入所定員150名・通所リハビリ定員50名で開設した当施設は、聖隷三方原病院との連携をより強化する為に、平成18年4月より一体運営を行ってまいりました。

ご利用者様の在宅復帰・在宅生活支援を重視しつつ、生活訓練を中心としたリハビリテーションの実施、聖隷三方原病院との連携強化による緊急時等の医療的支援体制等、お一人おひとりに応じた、安心で質の高い介護療養サービスの提供を目指しております。

当施設は開設以来18年目を迎え、施設設備のリニューアルが必要な時期をも迎えており、ご利用者がより快適に療養していただけるよう、環境整備並びに組織体制整備にも引き続き取り組んでいきたいと考えております。



○ 西山ウエルケア ○

「西山ウエルケア」は浜松市西区の緑豊かで自然に恵まれたところにあります。

当施設では利用者の方々に日常生活で少しでも刺激を持っていただけるようレクリエーションやクラブ活動に力を入れています。例えば、レクリエーションでは毎日のレクリエーションの他に節分、ひな祭り、夏祭り、クリスマスなどの季節に合わせた施設全体でのレクリエーションを行っています。また、クラブ活動では刺し子、生け花、ステンシル、粘土造形など利用者それぞれが自分に合わせた活動ができるよう考えています。その他にも喫茶コーナーを設けることで、クラブ活動に参加できない方にも楽しんでいただけるよう心がけています。

今後も利用者みなさんに喜んでいただけるよう職員一丸となり、よりよい施設を目指し努力していききたいと思います。



○ 都ケアセンター ○

当施設は、浜松市北区の都田に位置し、山並みも近く緑豊かで自然環境に恵まれたところにあります。定員は、入所151名、通所リハビリ40名で、政本病院(療養病床)の併設施設として互いに連携を図り、「そのひとに最も適した介護」の実施を目指しています。

当施設では、一昨年より機能訓練室にパワーリハビリ機器を4機導入し理学療法士1名、作業療法士4名のもと、より充実したリハビリが提供できるよう日々努力を続けております。

当施設が開設されて、この春で17年目を迎えます。今後も職員一同、サービスの質の向上と利用者様、ご家族の方に喜ばれ、満足頂ける施設を目指し、日々努力を重ねていきたいと思っております。



○ みつがび東介護老人保健施設 ○

浜名湖を望み、山々に囲まれた温暖な気候に恵まれた三ヶ日の自然の環境の中、安心して暮らせる療養環境を、私たち職員一同、真心込めてご提供させていただきます。

当施設のモットーは利用者様に快適で気持ち良く暮らすことのできる環境の提供であり、その為に「明るく・清潔に」を合言葉とし、日々サービスの提供をさせて頂いています。また、在宅生活をサポートする通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、有床診療所も併設し、地域福祉ニーズに幅広く対応できる施設であるよう、常に努力しています。

今後も福祉の拠点になるよう頑張っていきます。



。エーデルワイス。

当施設は、平成19年4月より政令指定都市となった浜松市の北部にあります。国道152号線沿いで、近くに大型ショッピングセンターが2つもあり、浜松市中心街より車で約30分たらずの交通至便な場所にありながら緑に囲まれた田園の中に位置します。

施設の規模は、入所145床、短期入所5床、通所リハビリ定員1日60名で運営しております。また指定居宅介護支援事業所として担当ケアマネージャーが在宅サービスを希望されている方々の相談にのり、関係機関と密に連携をとりながらケアプランを作成し、サービス調整等を行っております。

建物の前方には広々とした回廊式の車椅子通路に囲まれた庭園、ふれあい動物園、ミニ果樹園があり、入所者及び通所者のレクリエーション活動や憩いの場として利用されております。

また、当施設より徒歩1～2分のところには協力病院があり、当利用者様の力強い支援をしております。



。なかよし。

当施設は、JR豊田駅より北へ車で5分。併設している豊田えいせい病院と連携して、地域に根ざした質の高い医療、看護、介護を提供しています。また、リハビリを中心に在宅復帰を目指しています。

私たち「なかよし」のスタッフは、「みんななかよし」をモットーに清潔でアットホームな暖かいケアを心がけています。笑顔がいつばいの「なかよし」をこれからもどうぞよろしくお願いします。



。白梅ケアホーム。

いつもとちょっと違う日。食事は日々の生活の中で楽しみの一つと考え、毎月、行事食やセレクトメニュー、お弁当など取り入れています。

お弁当は季節の花の名前をつけ、例えば、2月は梅花弁当、節分に合わせて太巻寿司に、3月は菜の花弁当、卵とほうれん草で菜の花御飯、4月は桜御飯で桜弁当にしたり、できるだけ季節感が出るように工夫しています。そして天気の良い日は庭の梅や桜の花を眺めながら召し上がっていただく事もあります。外に出掛ける事の少ない利用者様に、いつもとちょっと違う日の笑顔がみれたらと思っています。



。ハイマート有玉。

「学んで時に之を習う、亦悦ばしからずや」人間は学ぶことに喜びを見出していく存在であるということで、当施設でもご利用者様と共に学ぼうと、月に一度リハビリテーション専門医師による「リハビリ講座」を通所リハビリ施設で開催しています。リハビリといってもその範囲は広く、各種疾患に対するリハビリはもちろん、「日常生活を未病、息災に暮らすには」「肥満予防」さらには「お正月の過ごし方」など内容は多岐に渡ります。

回を重ねる毎にご利用者様のご家族や近隣地域の方々の参加も増え、「いろいろと参考になる」と好評を得ています。当施設の職員もこの講座で得た知識を基に、ご利用者様に対する機能訓練、レクリエーション、環境整備、お食事等、生活全般にわたるサービスの充実を心掛けています。今後はさらに、認知症のケアや比較的若い年齢層の方々に対する機能訓練のあり方などにも力を注ぎ、時代の要請に応えていける施設作りを進めていきたいと考えています。地域の方にも大いに利用していただければ幸いです。



● 於保老健センター ●

於保老健センターは、平成8年4月に開設し、この春14年目を迎えます。

入所80名(うち認知症専門棟30名)、通所リハビリ20名の施設です。国道150線よりすぐの場所にあり、見つけやすいところかと思えます。

精神科神経科の病院に併設され、認知症の方のご利用が多いのですが、そういう状態であっても安心して生活いただけるよう、家族にとっても安心して利用させられるよう、職員一同努めております。



▲今年の節分での一景です。

● 入野ケアセンター ●

当施設は佐鳴湖の南側に面した雄踏バイパス沿いに位置し浜松市中心街から車で約10分ほどの交通利便性のよい街場の介護老人保健施設です。

「施設入所」をはじめ「短期入所」、「通所リハ」、「訪問介護・看護」、「居宅介護支援事業所」を併設しており、リハビリを中心に利用者様のニーズに応じてサービスを提供しております。



併せて湖東病院、和恵会記念病院とグループ内に介護療養型医療施設も併設しており、利用者様一人一人に応じた質の高い医療・介護サービスの提供が可能になっております。

また年間を通じて、大正琴などの演奏会やマジック、動物介在活動など様々な地域のボランティアの方が来所され、職員、地域住民が一丸となってご利用者様の明るく充実した生活のお手伝いができるよう日々業務に取り組んでおります。



今後もご利用者様、ご家族様、そして地域の住民の方々からも喜ばれる施設づくりを目指していききたいと思えます。

● すずかけの街 ●

浜松市の中心市街地に平成9年2月に都市型複合老人施設としてオープンしました。

私達は皆様が安心して生まれ育った地域、住みなれた自宅で歳を重ねることが出来るように、より良質な看護、介護サービスを提供したいと考えています。

施設6Fにはリハビリ庭園があり、ゲストの皆さんが4月末に種を蒔き、交代で間引き水やりなど行い育ててきたお野菜が、この夏無事に収穫ができました。昔馴染みの農作業や調理など、とても張り切って行なわれている姿が印象的でした。また、春がくるのを心待ちにしています。



● エバーグリーン掛川 ●

エバーグリーン掛川は、平成8年5月に開設し、今年で14年目を迎えます。現在の定員は入所100名、通所40名です。

ご利用者様にとって施設は、療養の場であると同時に生活の場でもあるため、少しでも幸せに暮らし、日常生活動作能力や生活の質が高められるよう、ご利用者様の個々の状態に合わせたリハビリテーションやケアを目標に、職種間の連携をはかり、職員が一丸となり取り組んでいます。

リハビリでは、機能訓練や日常生活動作訓練はもちろんのこと、自然に親しみ、心身ともにゆとりのある日々が送れるよう園芸や散歩を取り入れています。野菜や草花、土に触れている時の顔はみなさん生き生きとしており、園芸を通じて会話も広がります。「笑う門には福来たる」これからも、ご利用者様が自分らしく安心して快適な生活、笑いのある日々が送れるようサポートしていききたいと考えております。



。 おおふじ五幸ホーム 。

おおふじ五幸ホームは平成10年4月に開設し、今春11年目を迎えました。

御利用様が快適かつ安心していただける施設を目指し、日々、看護・介護・リハビリの充実に努力しております。又、季節の行事やボランティアの方の御協力による様々な催しも楽しみにしていただいております。今年1月にも恒例の新年会が催され、地域のボランティアの方による大正琴の演奏では共に歌い、御利用者様と職員でコンビを組んだ2人羽織では大いに笑い、職員手作りの獅子舞いにはヤンヤの喝采で大盛況でした。

御利用者様の笑顔に活力をいただき、これからも職員一同更なる向上を目指して参ります。



。 神子の園 。

掛川駅の北東約3kmに位置する当施設は、平成11年4月に開設し、今年で11年目を迎えます。定員は入所100名（うち認知症専門棟50名）通所60名です。また近くに地域密着型事業としてグループホームと認知症デイサービスセンターを併設しています。

当施設では、季節感を大切に各種行事、レクリエーション、クラブ活動、食事等に力を入れています。また、毎日の散歩を取り入れており、利用者の表情も明るく豊かになっています。リハビリテーションにおいてもパワーリハビリを導入し、機能回復や維持に努めています。

今後も全職員一丸となって、明るく活気があり安心して利用して頂ける施設を目指し努力していききたいと思います。



。 さ い わ い 。

当施設は、浜松市の北部に位置する天竜区にあり、開設12年を迎えます。平成20年度法人の品質目標「自らの専門職としての力量を高め、サービスの向上を目指します」達成に向け、さいわいとしては、8つの委員会活動を活発にすることで、専門職としての技術力向上を目標にしました。

その中のひとつとして「口腔ケア推進委員会」の取り組みをご紹介します。1日3回の口腔ケアの実施とともに、各フロア・グループの口腔体操の定着を目指しました。なぜ体操や口腔ケアが必要なのかをSTを中心に座学と体験を通し、気づきを得る勉強会を開催しました。

『口を通してケアすること』をひとつの実践として、口腔体操が利用者様の間でも定着しました。これらもひとつのステップとして、今後も老健としての役割を担っていききたいと思います。



。 さくらの苑 。

平成10年5月に開設してから11年が経過しようとしています。当施設はJR磐田駅や野鳥が多く生息する大池にも程近い距離にあります。

入所100名、通所リハビリ39名、居宅支援介護事業所があり自立支援、在宅復帰をめざし様々なリハビリの工夫をしています。

また、障害の病気を持った方々の急性期に対してはサクラクリニックの支援を受け慈しみの看護、介護を心がけケアにあたっています。また、新年会等の季節の行事をはじめ、カラオケ、誕生会、遠足、おやつ作り教室など御利用の方々に楽しんで頂ける様職員一丸となり取り組んでおります。

今後もニーズを常に意識し、皆様に選ばれる施設をめざしていききたいと思います。



○ まんさくの里 ○

静岡県のお隣り愛知県との県境に位置し、浜名湖・太平洋・湖西連峰と、湖・海・山に囲まれた自然豊かな湖西市に当施設はあります。平成21年4月には、開設9年目を迎えます。定員は、短期を含む入所100名、通所30名です。

当施設では、節分・ひなまつり・納涼祭・文化祭・クリスマス会・野外レクリエーションなどの行事を通して、利用者様が元気に楽しく生活して頂けるよう努めております。昨年の秋には、豊橋総合動植物公園へ出掛けました。施設内で見られる笑顔以上に、たくさんの笑顔が見られ利用者様から好評でした。

今後とも、地域の皆様をはじめ、利用者様一人一人が満足して頂けるよう職員一同努力を重ねていきたいと思っております。



○ 花平ケアセンター ○

当施設は浜松市の北部に位置しており、平成21年の4月で8年目を迎えます。自然豊かな引佐町を中心に地域

密着を掲げ、利用者様、地域の方々に喜ばれ愛される施設創りを目指し、平成20年の10月にショートステイ専門棟（ひまわり）、平成21年の1月には、医療と介護の複合施設（井伊谷メディカルコートガーデン）を開設致しました。“終身利用を共に考えていく”施設（法人）として、皆様のお役に立てられたらと想っています。

「利用者様の意志及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立つ」を基本理念とし「個別誕生会」「居酒屋レク」など利用者様の笑顔を引き出せるケアの提供に努めています。また、志高い職員育成のために、職員研修にも力を注いでいます。今後とも利用者様、ご家族、地域

の方々、そして職員にも愛される施設になる様、邁進して参ります。



○ 袋井ケアセンター ○

袋井市の北部、森町一宮に近い萱間の山の中間に位置する所に袋井ケアセンターはあります。現在入所定員は100名、通所定員は40名ですが皆さん元気いっぱいの施設です。

リハビリを担う理学療法士は常勤2名、非常勤3名で利用者様一人一人に合った個別リハビリ（身体機能改善、ADL改善、歩行能力向上、住宅改修アドバイス）を行い明るく楽しい雰囲気での笑顔健康増進に力を注いでおります。

四季ごとに緑の多い公園、神社等に車で出掛け利用者様に季節を満喫してもらっております。

職員一同利用者様に満足して頂けますようサービスの向上に努めてまいります。



○ はまおか ○

当施設は1階デイケア、2階老人保健施設、3階介護療養型となっている御前崎市総合保健福祉センターにあります。市立御前崎総合病院と隣接しており、必要時は検査・入院治療を受けることができます。

日常生活の中で、医学的管理のもとに、リハビリテーションや看護・介護の専門性を生かして、自立生活（家庭復帰）に向けてお手伝いをさせて頂いています。

平均介護度は3.5と年々高くなっており、医療を必要とする利用者も増えています。利用者毎に看護・介護計画を立て、問題点を解決させるため具体策を実践して、SOAPで記録しています。

これからも利用者が安全・安心して楽しく生活できるケアを全職員で提供していきたいと思っています。



施設から見た2008年元旦の日の出です。

。みかたはら介護老人保健施設。

みかたはら介護老人保健施設は、平成15年4月に開設し、6年目を迎えました。

暖かな日光が降り注ぐ明るい生活環境の中、医師を中心として、理学療法士、看護師、介護職員、事務職員、厨房職員等、スタッフ全員が一丸となり、利用者様の立場に立った真心のあるサービスを提供致しています。中でも日々のレクリエーションは好評で、スタッフは、利用者様により楽しんで頂けるよう日々工夫を凝らしています。利用者様もスタッフも笑顔の絶えない和やかな雰囲気施設の施設で、これからも利用者様に更なる満足と質の高いサービスの提供に励んでまいります。



。白脇ケアセンター。

当施設は平成14年4月に開設し居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを併設した入所定員100名、通所定員60名の施設です。

施設内の一部を区切りグループケアユニットを設け、できるだけ家庭的な雰囲気の中で日常生活を送れるよう快適な環境づくりに努め利用者様の意向を尊重し質の高いサービスの提供を心掛けています。

また、リハビリにおいては利用者様の心身機能向上のため一人一人に合ったプランを立てPT、OT、STによる個別リハビリを実施しております。

今後も「親切」「丁寧」「平等」の理念のもと、利用者様の心のケアや信頼関係を大切にしながら職員一同、心をこめてサービスを提供していききたいと思っております。



ソーラン節

。天王介護老人保健施設。

天王介護老人保健施設は、天王病院（認知症専門病院）開設当初から「心と心のふれあい」、「親切と信頼の医療」を礎に今日まで信頼と実績を生かして平成15年8月に開設しました。



入所定員100床（全認知症専門棟、全個室）、通所リハビリテーション定員40名で運営しております。

各個室には障子の窓を配置するなど和の雰囲気を漂わせ、全個室化により入居された皆さん個人の主体性を尊重する事ができ、規則正しいリズムある生活を送ることによって、本来のご自分を取り戻す、そんなハード面での環境の提供もしています。



季節に合わせた行事「お花見」や「クリスマス会」、「餅つき大会」を行っており、年中行事として「ちんどん行列」も行っています。

。ケアセンター芳川。

ケアセンター芳川は、「生活機能の維持向上と、ご利用者の皆様が心豊かに過ごして頂ける施設」を目標に歩み、創立6年



目となりました。当施設の定員は、入所100名、通所リハビリテーション（デイケア）は40名です。

デイケアでは、毎日ご利用者の明るい声が聞こえ、フロアには、ご利用者の皆様が4ヶ月間力を合わせて完成させたロールピクチャー「赤富士」が展示されています。

「見事だね」と思いのほか多くの反響を頂き、次作品への制作意欲が一段と高まっています。

入所部では、ユニットケアの特徴を生かし、家庭的な雰囲気のなか、親身できめ細かい介護を目指しています。また、地域の皆様との交流を通じ、より地域に身近な存在として貢献できるよう、一層の努力をして参ります。

● 風の杜 ●

私たち風の杜は遠州森町に開設以来、5年目を迎えます。これも偏に地元の方々をはじめとする皆様方の温かい応援の賜物であると役職員一同感謝しています。これからも老健としての役割をしっかりと果たし、地域社会に貢献できるよう頑張っている所存です。

入所は定員80名で内38名は認知症専門棟です。近隣には公立の提携病院があり、急変時などにおいても迅速な対応が可能です。

通所は定員40名で介護予防にも力を入れています。ご利用者様がリハビリやレクリエーションに充実した一日を過ごされることが第一目標です。

入所通所ともリハビリやレクリエーションには職員のみならず、外部講師や音楽療法士を積極導入し、ご利用者様には大変好評です。



● あおばケアガーデン ●

当施設は遠州灘の荒波から北へ1.2km掛川市の南部(旧大須賀町)にあります。平成16年4月に開設し、今年で6年目を迎えます。ご利用者の笑顔が絶えない施設づくりを目標に職員一同レクリエーションや行事に取り組んできました。昨年末のクリスマス会&忘年会ではご利用者と職員による愉快的な仮装と一言劇を10組行いました。賑やかに楽しく歌って踊って大変盛り上がり、絆がより一層深まりました。



▲年忘れ仮装大会

また、昨年より職員教育を見直し“質の高い介護”を提供できることを目標に、知識と実践を組み合わせた勉強会を毎月実施しています。また、外部研修へも積極的に参加し、後日、施設内にて発表する機会を設け、皆が

知識を共有出来るよう取り組んでいます。今年度の施設標語〈※和顔愛語〉を合言葉に職員一同心を合わせてより良い施設づくりに努めていきます。

※(出典)大無量寿経というお経の中より
(意味)優しいところ、優しいことば



▲救命救急勉強会

● 白梅豊岡ケアホーム ●

今年で4年目を迎える当施設は、入所定員100名(短期入所含む)、うち45名は認知症専門棟です。また、療養型医療施設である白梅豊岡病院を併設し、状態急変時の迅速な対応が可能となっています。

当施設では利用者さまが楽しく療養生活を送れるように、看護、介護、リハビリテーションの充実に努めております。

昨年秋より始めた、白梅豊岡病院との合同の秋祭りでは、ご家族の方々にもご参加いただき、ボランティアの方々と一緒に盆踊りを楽しみました。また、地元の秋祭りと日を合わせることで屋台の引き廻しにも来ていただき子供達のお囃子と練りでお祭りを盛り上げていただきました。

今後ともご家族との結びつきを大切に、利用者さまが安心して楽しく生活できる環境づくりに努めていきたいと思ひます。



● さわだの庄 ●

当施設は、ご家族や地域の皆様からの多大なご支援、ご協力を賜りまして、開設5年目を迎えることが出来ました。

私達は、ご利用者と職員間の信頼関係の構築を第一とし個々に合ったサービス、そして常に明るく快適な環境づくりを心掛け、お帰りの際は、“笑顔で帰宅”されるようにスタッフ全員で努力しております。

通所リハビリテーションでは毎月第3週にクラブ活動を行っています。このクラブに昨年より新たに《陶芸》が加わりました。地元で窯を開いている先生にお越し頂き、簡単な箸置きから、ろくろを使った本格的な物まで御希望に沿った形で楽しんで頂いております。その他にも、専属の音楽療法士による音楽療法や、日替わりで毎日メニューの違うレクリエーションなど、心と身体のリハビリテーションによる心身機能の向上維持を図っております。

今後も基本理念の遵守と、施設の開放・地域との融合を意識した施設づくりを目指し、一層の努力を重ねていきたいと考えております。



五 洋 の 里

五洋の里は平成18年7月に開設し今年で4年目を迎えます。入所定員は2F一般棟50名、3F認知症専門棟40名の90名(短期入所含む)、通所リハビリテーション20名、居宅介護支援事業所を備えた施設です。磐田市南部に位置し、南には遠州灘の壮大な海、東には名峰富士山が眺望でき、新鮮な空気と自然一杯の環境の中にあります。開設来、医師を中心に看護師、介護士をはじめ各専門職全員で地域の皆様に安心してお役に立てる施設を目指しております。今回は昨年7月開催した「夏祭り」を紹介させていただきます。地元小、中学生の皆さんのご協力を頂き、特性の神輿を制作、施設内を練って廻りました。利用者様は「ワッショイ、ワッショイ！」のみなぎる元気を浴び笑顔いっぱい、大好評でした。今年も地元の方のご協力を頂きながら、利用者様、ご家族様の笑顔がいっぱい見られるのが楽しみです。



ナーシングホームオンフルール

私たちのめざすものは———

すべてに優しい“ふれあい”です。

平成18年4月にオープンしました「ナーシングホーム・オンフルール」は、やがて開設3周年を迎え“確かなあゆみ”をつづけています。

施設の特徴は、同じ敷地の中に、同じ系列の社会福祉法人が経営するケアハウス・特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・居宅支援センターなど、高齢者福祉のエリアが整備されており、医療と福祉が相互に補完しあい、有機的に機能し実践的な活動を展開しているところです。

まわりの濃いみどりと澄み切った青い空、

心から安らげる場として、今日もご利用くださる皆さまの楽しい笑いと歓声が聞えてきます。



▲大ぜいの参加者で賑わう運動会

あ ら た ま

当施設は、浜松市浜北区の北部に位置し、緑豊かで自然環境に囲まれたところにあります。平成18年9月1日に入所定員80名(短期入所含む)、うち40名は認知症専門棟、通所リハビリ20名の施設として開設し、今年で4年目を迎えます。

昨年より本格的にスタートした園芸活動では、利用者様や職員、地域の方々が協同で一年を通して花や食物の栽培に取り組んでいます。今後も様々なサービスを提供し、利用者の方々が、明るく、元気で、楽しく毎日を過ごして頂ける様、職員一同努力していきます。



長 鶴 の 郷

当施設は、平成19年4月に開設、今年4月で丸2年を迎えるまだ若い施設です。

入所・通所・在宅支援施設として生活機能の維持・回復の為の介護施設としての機能はもちろん、楽しく、仲良く、そして安心・安全に笑顔の中で明るく介護を実践する様、毎日全職員奮闘中であります。

特に現在、レクリエーション・行事に力を入れており、先日も節分の日に行われた豆まきは、利用者様の笑い声が絶えず、好評でした。

笑顔の中で、昨日より今日、今日より明日。日を増すごとに元気になっていく姿を支え、鶴が羽ばたくようにご家庭に戻っていただける様、今後も全職員、全力でサービス提供に努めていきます。



県内の

新設介護老人保健施設を 紹介します。

○サンビューみしま三島市○

「三島社会保険介護老人保健施設サンビューみしま」は、社団法人全国社会保険協会連合会が全国で運営する28番目の介護老人保健施設です。

平成13年5月、三島市の市街地より三島市郊外に新築移転した三島社会保険病院の併設施設として開設されました。

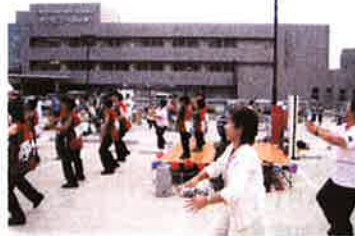
場所は箱根西麓の高台に位置し、施設の窓からは富士山・駿河湾が一望できるなど、環境には大変恵まれています。

交通アクセスにつきましては、併設病院と共同の無料シャトルバス2台が三島駅と伊豆箱根鉄道の三島田町駅から運行しています。また、自家用車をご利用の方は、400台駐車可能な2階建て駐車場をご利用いただくこともできます。

当施設は、入所定員98名(短期入所療養介護含む)、通所リハビリテーションは30名。併設機関として居宅介護支援事業所と三島市から委託の地域包括支援センターを併設しています。

また、地域交流として、毎年、納涼祭では三島名物の「じゃがり」を地元子供会にご披露いただいております。敬老会では地元保育園の園児による慰問活動を実施するなど、地域との交流も大切にしています。

当施設は三島市唯一の公的病院である三島社会保険病院の併設施設であることから、併設病院とともに三島市の医療・介護・福祉の拠点となるよう、併設病院や地域包括支援センターとの連携を密にし、より良いサービスを皆様にお届け出来るよう一層の努力をして参ります。



○かぐや富士 富士市○

雄大な霊峰富士を仰ぎ、波穏やかな駿河湾を望む風光明媚な富士市中里に平成20年10月、介護老人保健施設「かぐや富士」を開設致しました。

「かぐや富士」という施設名ですが、富士市は、市民の融和と潤いのある「美しいまちづくり」を進めるうえで、富士市の市花である薔薇のオリジナル化を手掛け、平成13年ついに新しい品種の薔薇を作られました。その富士市オリジナルの薔薇が「かぐや富士」でございます。「かぐや富士」の花の美しさと親しみやすさのように、地域に愛されるような施設に職員一同、鋭意努力していく所存でございます。

当施設は入所90名(短期入所療養介護を含む)、通所リハビリテーションを運営し、開放的で明るい施設内に、換気・通風・採光・安全を考慮した居室を備えるとともに、ご入所者やデイケアのご利用者、ご近所の皆様にも富士山を眺めながらゆっくりした時間を過ごしていただくよう室内に足湯を設置させていただきました。足湯につかりながら疲労やストレスを解消し、心も身体も温かに。そのような時間と空間を大切にしながら、医療・介護を提供させていただきたいと思っております。

まだ、歩き始めたばかりの当施設ですが、ご利用者が安全で安心して生活が送れるように、住環境の整備と職員としての専門性を追求し、利用者・家族・地域の方がたとの協力関係を取りながら、信頼される施設づくりをめざしていく所存でございます。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。



○ エスコートタウン 静岡市 ○

介護老人保健施設エスコートタウン静岡の紹介をさせていただきます。当施設は、「医療法人社団アール・アンド・オー」リハビリ病院グループの維持期リハビリをになうため、静岡市葵区柚木の国道一号線沿いに病院併設型個室120床を中心としたユニット型施設を平成19年9月に開設しました。

特色は、法人グループとして、併設病院に静岡リウマチ整形外科リハビリ病院を、また協力病院に静岡リハビリテーション病院を、そして在宅サ―ビスには、通所リハビリ・訪問リハビリ・訪問看護・居宅介護支援などを包括した静岡ホームメディカルセンター事業を行っています。

当施設が願うことは、介護現場から実践的な積み重ねにより生まれた「個室のユニットケア」という考え方です。具体的には、入所者ご自身がその人らしい暮らしをしていただくために、ひとりひとりに対応したケアを心掛けています。ともすれば沈みがちな心を開放して希望を持っていただくために、個別リハビリの充実、ゆったりとした空間を提供しております。

各個室にはテレビ、電動ベット、人感センサー、などのプライバシーや安全を重視した設備を整えております。また、アロマテラピー、サンデッキ、バルコニーは、心身のリハビリテーションに役立っております。

このように皆様が安心してご利用いただけますようスタッフ一同心を込めて努めております。



○ えいせい掛川 掛川市 ○

「えいせい掛川、介護老人保健施設」は、医療法人社団恵成会二つ目の介護老人保健施設として平成19年4月に開設しました。

入所100床（短期入所含む）、通所リハビリテーション20名です。同一法人内の療養型医療施設、豊田えいせい病院や協力病院である掛川市立総合病院との連携で病状、病態の急変などにも適切で迅速な対応が可能となっております。

当施設は、掛川市北部の上西郷にあり（掛川バイパス西郷インターから北に車で5分程度）周囲は緑豊かで目前に広がる山の木々や、田畑を渡る風が四季折々に入所の皆様の癒してくれます。

また天然温泉を利用した入浴や足湯は入所や通所リハビリテーションをご利用される皆様から大変好評をいただいております。

大河ドラマ「功名が辻」でも有名な城下町、掛川は地域交流が盛んで当施設もボランティアの皆様や小学校のお子さん達との交流を通して、ふれあいの輪を広げております。

病院とは違った、その方らしい生活、こだわり、希望等を最大限に尊重し、入所の方やその御家族の皆様にも安心して過していただけるよう職種を超え全員一丸となって臨んでおります。どうぞよろしくお願い致します。



部 会 報 告

看護・介護部会

平成20年度の看護・介護部会は、12月・2月の2回静岡市の「あざれあ」にて開催しました。多数の参加をいただき、「リスクマネジメント」「身体拘束」「感染対策」「職員教育」のテーマ別にグループディスカッションを行いました。各施設での現状や抱えている問題点、取り組みについて意見交換をすることができたと思います。

リスクマネジメントのグループでは転倒・転落、認知症利用者の事故防止対策について、身体拘束のグループでは職員間の意識・認識の統一、環境整備と利用者本人・家族とのコミュニケーションの重要性について、感染対策のグループでは職員への意識付けやマニュアル整備、疥癬の対応について、それぞれの施設での現状を中心に意見交換をしました。

また、今年度は職員教育をテーマに選択された方が多く、新人に対する教育の方法や各種マニュアルの整備、研修の方法など、各施設での取り組みと問題点について話し合いました。また、職員に介護の仕事が続けてもらうために、どのようにしたらやりがいのある職場づくりができるかといったことについても活発な意見交換を行いました。

最後にグループごとにディスカッションした内容を発表していただきました。他のグループの発表からもそれぞれがどのように取り組み、問題解決しているか情報交換しました。参加した皆さんが、この研修会の中で気付いたことを持ち帰り、よりよいケアにつなげていただくことができたいと思います。



栄 養 部 会

平成20年度の栄養部会が、静岡県総合福祉会館「シズウエル」にて平成20年10月14日に、36施設41名、又平成21年2月16日には26施設37名の参加を頂き、二回にわたって開催されました。

第一回の栄養部会では、「栄養マネジメントの問題点」「行事食」「非常食」等について話し合いが行なわれました。昨年より報道機関にて取り上げられている食の安全性や材料の高騰等様々な多くの問題を抱えているなか、どの施設も真剣に取り組んでいる姿を見る事ができ、とても励みになりました。

第二回の栄養部会では「簡単に美味しい朝食メニュー」や「わたしの施設の手作りおやつ」という内容で各施設から事前にレシピを紹介して頂き、意見交換をしながら楽しく料理の試食会を行う事ができました。



介護老人保健施設として私達の提供している食事サービスに関わる多くの問題点を、栄養部会を通して情報を共有し、互いに学習して少しでも前進につなげて行きたいと思っています。今年4月より、介護報酬の改定が行われます。これからの自分達の果たす役割を充分に確認し、高い意識を持ってより良い食事提供を目指し頑張っていきたいと思っています。



第4回 東海・北陸ブロック 老健大会 『輝かしい明日のために』



特別講演

「がんばらない」けど
「あきらめない」

—命を支えるということ—

鎌田 實 医師・作家

諏訪中央病院名誉院長
日本チェルノブイリ連帯基金理事長
東海大学医学部非常勤教授
日本・イラク・メディカルネット代表

鎌田先生は、諏訪中央病院で地域医療に尽力され、「がんばらない」「あきらめない」などの多数の著書や、NHKや日本テレビなどにも出演されて、幅広いご活躍をされています。
公演には今回、一般の皆様にも開放し、多くのご参加をいただきました。

大会概要

◎延べ参加人数：570名

県別内訳（当日参加除く）

愛知県：153名	51施設	石川県：18名	7施設
岐阜県：54名	19施設	富山県：21名	7施設
三重県：46名	16施設	福井県：35名	16施設
静岡県：212名	49施設		

◎演題発表数：61演題



皆様のおかげをもちまして、盛況のうち、無事に大会を終える事ができました。改めて大会事務局、及び運営スタッフ一同より、心から御礼申し上げます。

第4回東海・北陸ブロック
老健大会事務局・運営スタッフ一同



大会長
藤澤 弘 芳



東海・北陸ブロック長
岡田 守 功 先生



全国老人保健施設協会会長
川合 秀 治 先生

第4回東海・北陸ブロック老健大会が、平成20年5月22日(木)・23日(金)の2日間にわたり浜松市で開催されました。

日本は1995年をピークに、生産年齢人口が減少に転じ、以降大きな人口構造の変換を迎えています。同時にわが国の平均寿命は世界一を誇り超高齢化社会を迎えています。このような背景の中で、私たち介護老人保健施設の社会的責任は、今後ますます高度化・多様化されていくことは想像に難くなく、私たち自身が常に新たな知識や情報を得てそのニーズに回答していくことが使命と感じます。

私たち従事者の未来を輝かしいものにする事こそが、超高齢化社会対応の原動力と思っています。そしてこの大会を契機として、私たちの多くの素晴らしい提案が、世界に発信され活用されることを心より願い今大会のテーマといたしました。

大会は、厚生労働省老健局 課長補佐による基調講演や鎌田実先生による特別講演、研究発表60題の演題が発表される等、多くの職員が参加され熱い交流となりました。

大盛況の会場



第5回 東海・北陸ブロック老健大会

◆日程 / 平成21年5月21日(木) 10:30～17:30 (受付10:00～)
平成21年5月22日(金) 9:00～12:10 (受付 8:30～)

◆会場 / 富山国際会議場 (メインホール・多目的会議室)

会員施設皆様の参加及びご協力をよろしくお願い致します。

梅しらす粥(主食)〔白梅豊岡ケアホーム〕

【材料】(1人分)

米	60g
しらす	8g
人参	10g
えのき	5g
みつば	1.5g
うす口しょうゆ	3g
塩	0.5g
酒	1g
梅干し	3g

【調理方法】

- ①人参・えのき・みつばは食べやすい大きさに切る(小さめに切っている)。
- ②お粥を炊く際、人参・えのき・しらすと調味料を入れ炊きあげる。

※梅干し・みつばは最後に入れる(梅干しは種をとり、きざんでおく)

朝食メニュー



野菜雑炊〔かぐや富士〕

【材料】(1人分)

米	50g
大根(短冊)	10g
人参(みじん切)	5g
刻み油揚げ(みじん切)	3g
春菊(みじん切)	5g
卵	10g
(a) 塩	0.5g
無塩だし	1g
淡口醤油	1g

【調理方法】

- ①米・水・大根・人参・刻み油揚げを炊飯器にセットする⇒スタート。
- ②春菊は色出、色止をする。
- ③①が炊けたら溶き卵をまわし入れ、すぐふたをし、蒸らす。
- ④(a)を入れ、味を調える。
- ⑤盛り付け直前に②を入れ、よく混ぜ合わせてから盛る。

ピーマンのじゃこ炒め(主菜)〔はるかぜ〕

【材料】(1人分)

ピーマン	30g
しらす干し	5g
刻み揚げ	5g
サラダ油	2g
しょうゆ	3g
酒	1g
みりん	1g

【調理方法】

- ①ピーマン千切り・しらす干し・揚げをサラダ油でさっと炒め、しょうゆ・酒・みりんを味付けします。

さくらえびの甘煮(副菜)〔タカネ園〕

【材料】(1人分)

さくらエビ(乾)	5g
酒	1g
みりん	1g
砂糖	1g
塩	0.01g
水	5g

【調理方法】

- ①さくらエビを調味料で煮る。

だし巻き玉子(主菜)〔椎路の里〕

【材料】(1人分)

玉子	7コ
だし汁	
塩	

【調理方法】

- ①玉子をとき、だし汁・塩で味付をする。
- ②玉子焼器で何回もくると巻いていく。



小松菜の雪衣(副菜)〔なかよし〕

【材料】(1人分)

小松菜	30g
にんじん	5g
水切り豆腐	10g
めんつゆ	3g

【調理方法】

- ①小松菜とにんじんを切り、ゆでる。
- ②①をよく搾り、水切り豆腐をくずして加える。
- ③めんつゆを加え、味付けをする。

大根菜炒め〔ケアセンター池田の街〕

【材料】(1人分)

大根の葉	
ちりめんじゃこ	
白ゴマ	
ゴマ油	
正油	

【調理方法】

- ①大根の葉とちりめんじゃこをゴマ油で炒める。
- ②正油で軽く味付けをし、白ゴマをふりかけで完成。

かんぴょうの卵とじ(副菜)〔西山ウエルケア〕

【材料】

かんぴょう
玉ねぎ
人参
卵
ねぎ

【調理方法】

- ①材料を調味料で煮る。
- ②①の材料が柔らかくなったら
- ③②に卵を入れる。
- ④③を器に盛付け彩りにねぎをちらす。

豆腐のそぼろあんかけ(主菜)〔ケアセンター芳川〕

【材料】(1人分)

豆腐	80g
豚挽肉	20g
しょうゆ	3g
砂糖	2g
酒	1g
片栗粉	適量
貝割れ大根	5g

【調理方法】

- ①豆腐はサイの目、貝割れ大根は1cm幅に切る。
- ②豆腐と豚挽肉を調味料で煮て、味をしみこませる。
- ③仕上げに、水溶き片栗粉を入れてとろみをつける。
- ④貝割れ大根を上飾る。

とろろ芋〔於保老健センター〕

【材料】(1人分)

とろろ(冷凍)
青のり
しょうゆ

【調理方法】

- ①とろろを解凍する。
- ②青のり、しょうゆを混ぜる。
- ③完成。





朝食（ご飯セット）
ごはん・みそ汁・
かぼちゃの含め煮・
アスパラの辛しあえ・
玉子焼き・のり佃煮・
つけもの・牛乳

朝食（パンセット）
⇒
パン（ブルーベリージャム）・
みそ汁・スクランブル
エッグ野菜そえ・
フルーツ（いちご・キウイ）・
牛乳



花麩とほうれん草の玉子とじ（主菜）【焼津ケアセンター】

【材料】（1人分）

卵
ほうれん草
人参
花麩
しょうゆ
砂糖
和風だし

【調理方法】

- ①ほうれん草と人参は食べやすい大きさに切る。
- ②なべに水と人参を入れ火が通ったら、花麩とほうれん草を入れる。
- ③調味料を入れてさっと煮る。
- ④溶き卵をまわし入れる。

かに雑炊（主食）【白梅ケアホーム】

【材料】（1人分）

米……………45g
ずわいがに・水煮缶詰…20g
しいたけ・生……………6.8g
えのきたけ・生……………6g
人参・根皮つき・生……5.2g
みつば・根みつば・生…1.6g
しょうゆ・薄口醤油……1g
清酒・2級……………1g
塩・食塩……………0.5g

【調理方法】

- ①米を洗って、だし汁と切った野菜・調味料を入れ、いっしょに火にかける。
- ②強火で沸騰させ、沸騰したら弱火にし、米がやわらかくなったら、かにを入れ味をととのえる。

※他に鶏雑炊、しらす雑炊、卵雑炊、きのご雑炊など

グリーンポタージュ、カボチャポタージュ（汁物）【あすなろ】

【材料】（1人分）

グリーンピース（うらごし）冷凍
又は南瓜うらごし冷凍……50g
有塩バター……………2g
小麦粉……………1.3g
固形コンソメ……………0.5g
牛乳……………50g

【調理方法】

- ①バターをとかし、小麦粉をいため牛乳でのばす。
- ②解凍したうらごしグリーンピース、コンソメスープ100cc加えて（又は南瓜うらごし使用）ゆっくり火を通す。
- ③塩味は加減してつけていく。

※他にもコーン、ポテトのポタージュをやっています。

甘塩鮭（主食）【ヒューマンライフ富士】

【材料】（1人分）

甘塩鮭……………70g
油……………1g
(付)a.ほうれん草……………30g
かつお節……………0.3g
しょうゆ……………4g
(付)はじかみ……………1本

【調理方法】

- ①甘塩鮭を焼く。
- ②はじかみをのせる。
- ③(a)を混ぜてそえる。

南瓜と豆のお焼き【ナースィングホームオンフルール】

【材料】（1人分）

かぼちゃ……………30g
グリーンピース……………5g
大豆水煮……………20g
塩……………0.1g
こしょう……………0.1g
無塩バター……………0.8g
しょう油……………1.5g
みりん……………1.5g
枝豆……………5g

【調理方法】

- ①材料をあえて、表面がカリッとするまで焼く。



朝食（主菜）高野豆腐の玉子とじ

豆乳チャウダー（主菜）【神子の園】

【材料】（1人分）

豆腐
ほうれん草
玉葱
人参
豆乳
塩
こしょう
コンソメ
片栗粉

【調理方法】

- ①水を煮立て、コンソメを入れる。
- ②玉葱・人参を入れて煮る。
- ③豆乳を加え、豆腐・下茹ほうれん草を加え、塩・こしょうで味を整える。
- ④片栗粉でとろみをつける。

高野豆腐の玉子とじ（主菜）【椎路の里】

【材料】（1人分）

高野豆腐……………1/2枚
人参……………10g
さやえんどう……………3枚
玉子……………1/2コ
だし汁
さとう
しょうゆ
みりん

【調理方法】

- ①高野豆腐・人参・さやえんどうを、だし汁・さとう・しょうゆ・みりんで煮る。
- ②煮えてきたら溶いた卵を入れ、ひと煮たちしたら火を止め、ふたをして卵が半熟になるまで蒸らす。

米飯の場合【ひろみ】

【材料】（1人分）

●御飯
米（新玄米）……………70g
炊きたてカルシウム……………0.4g
●里芋のそぼろ煮
*さといも……………45g（3個）
人参（2L）/kg……………10g
*干し椎茸（スライス）……………0.5g
*鶏ミンチ……………10g
*料理酒1L……………1g
*だし汁……………30g
*上白糖……………2g
*濃口醤油（1.8L）……………5g
*みりん風調味料1L……………2g
*おろし生しょうが1kg……………0.2g

【材料】（1人分）

●チンゲン菜の辛し和え
*チンゲン菜根本カット500g……………40g
人参（2L）/kg……………3g
だし汁……………3g
*濃口醤油（1.8L）……………3g
*粉からし（300g）/p……………0.1g
●味噌汁
*N'S白みそ……………10g
だし汁……………150g
*えのきだけ（A）（100g）/p……………15g
*きざみ揚げ……………2g
●ヨーグルト
生乳100%プレーンヨーグルト
（500ml）/本……………70g
*上白糖……………3g
エネルギー：433 脂質：4.1
タンパク：14.6 塩分：2.6
炭水化物：82.8

パンの場合【ひろみ】

【材料】（1人分）

●黒糖ロール（30g×7個）/p……………60g（2個）
●スプレッド
りんごジャム……………8g
マーマレード……………8g
●ほうれん草の卵とじ
*輸入ほうれん草（カット）……………40g
*しらす干し……………3g
卵（サルモネラリスク対応型）
（10個）（58）……………20g
だし汁……………20g
*料理酒1L……………2g
*うす口醤油（1.8L）……………1g
*上白糖……………1g

【材料】（1人分）

●コーンポタージュスープ
*コーンスープ……………50g
無調整牛乳（1L）/本……………50g
チキンコンソメ……………0.01g
*塩……………0.2g
*コショウ……………0.02g
ドライパセリ（4g）/p……………0.2g
●りんごジュース
100%ジュース（アップル）
（1L）/本……………150g
エネルギー：431 脂質：10.6
タンパク：13.3 塩分：2.0
炭水化物：72.8

黒糖蒸しパン【萩の里】

【材料】(1人分)

小麦粉 ……16g
牛乳 ……10g
卵 ……8g
サラダ油 ……2g
B.P ……0.72g
粉黒糖 ……8g
レーズン ……5g

【調理方法】

- ①ボールに卵を割りほぐし、砂糖を加え、白くもったりするまでよく混ぜる。
- ②サラダ油を少しずつ加え、全体になじむまで、よく混ぜる。
- ③小麦粉をふるい入れ、だまにならないよう、なめらかになるまで混ぜる。
- ④アルミカップに流し込み、レーズンを飾り、スチームで12～13分蒸す。

バナナ蒸しパン【西山ウエルケア】

【材料】(10人分)

ホットケーキミックス…200g
卵 ……1個
牛乳 ……100cc
砂糖 ……50g
バナナ ……1本

【調理方法】

- ①バナナは牛乳と一緒にミキサーにかける。
- ②ボールにホットケーキミックス・卵・砂糖・①を入れまぜる。
- ③アルミカップに流し入れ、100℃で20分蒸す。



どら焼き風【グリーンヒルズ藤枝】

【材料】

カステラ
牛乳
こしあん

【調理方法】

- ①カステラをフードプロセッサーで細かくし、牛乳を加えしっとりさせる。
- ②こしあんを少しやわらかくする。
- ③デリッシュで①をよそい、②をかけた完成。



うぐいす豆の蒸しパン【ひろみ】

【材料】

卵 ……5g
無調整牛乳 ……17g
ホットケーキミックス…17g
やわらかうぐいす豆…20g

カロリー: 110kcal
タンパク質: 3.7g
カリウム: 91mg
脂質: 1.9g
食塩: 0.1g
炭水化物: 18.8g

【調理方法】

- ①卵をとき、牛乳を入れてホットケーキミックスを混ぜる。
 - ②やわらかうぐいす豆をふんわりと混ぜこみ、スチームコンベクションで30分程度蒸し、分量に切り分ける。
- うぐいす豆のかわりに
①イチゴジャム10g ②マーメイド10g
③ココア3～4g 砂糖少々 ④抹茶0.3g
⑤金時豆20g など代用可

芋ようかん【白梅豊岡ケアホーム】

【材料】(1人分)

さつま芋 ……30g
水 ……30ml
砂糖 ……10g

(a)寒天 ……0.5g
水 ……5g

【調理方法】

- ①(a)をとくす。
- ②さつま芋はボイルし、マッシャーでつぶす。
- ③水と砂糖と①②をなべに入れ、なめらかになるまでよくかきまぜる。
- ④パットに流し入れ、あら熱がとれたら冷蔵庫に入れ、冷しかためる。
- ⑤かたまったら、1人分に切る。

蒸しパン人参【白梅ケアホーム】

【材料】(1人分)

プレミックス粉
ホットケーキ用…25g
牛乳 ……15g
卵 ……3.6g
上白糖 ……3g
人参 ……10.4g

【調理方法】

- ①ホットケーキミックスに牛乳・卵と上白糖・人参のすりおろしたものを混ぜる。
 - ②スチコンで蒸して切り分ける。
- ※他にさつま芋、南瓜、小豆、りんご、黒糖など

パウンドケーキ【なかよし】

【材料】

ホットケーキミックス…15g
牛乳 ……5g
卵 ……10g
バター ……6g
砂糖 ……6g

【調理方法】

- ①バターと砂糖をやわらかくなるまで混ぜる。(バターはレンジに少しかけ、やわらかくしておく)
- ②牛乳と卵を3～4回に分けて加え、よく混ぜる。
- ③ホットケーキミックスを加えてよく混ぜる。
- ④170℃で30分位焼く。



栗むし羊かん【椎路の里】

【材料】(1人分)

小麦粉 ……3g
片栗粉 ……2g
砂糖 ……8g
水 ……12g
こしあん ……30g
栗の甘露煮 ……12g

【調理方法】

- ①ボールにこしあんを入れ、小麦粉と片栗粉のあわせものを振り入れ、木べらで練るようにしてしっかり混ぜる。
- ②鍋に砂糖と水を入れて少し熱し砂糖がとけたら①に加え泡だて器でよく混ぜる。
- ③栗の甘露煮は水分をふきとって細かくし②にまぜる。
- ④流しかに②を入れ蒸気の立った蒸し器で40分蒸す。
- ⑤つや寒天をぬる。

かぼちゃのプリン【椎路の里】

【材料】(1人分)

うらごしかぼちゃ…50g
玉子 ……1/3個
牛乳 ……40cc
砂糖 ……6g
バニラエッセンス

【調理方法】

- ①カラメルソースをつくる。砂糖80gと水50ccを入れ火にかけ煮つめます。
- ②鍋をゆすりながら、あめ色に焦がします。
- ③煙が出てきたら火を止め熱湯50ccを一気に入れ、鍋をゆすってとろっとしたソースにする。
- ④卵・砂糖をまぜる。
- ⑤熱い牛乳を一気に入れる。
- ⑥かぼちゃに卵液を入れ生地を裏ごしする。
- ⑦天板に湯をはりカラメルソースを下に⑥の液を流し器に入れ170℃、20分～25分蒸し焼きにする。

豆腐もち【神子の園】

【材料】(1人分)

じゃが芋
豆腐
片栗粉
みたらしレ: 水
砂糖
醤油
みりん
片栗粉

【調理方法】

- ①じゃが芋は皮をむき、カットし蒸し、熱いうちにつぶす。
- ②水切りし、つぶした豆腐を入れ、片栗粉で調整しながら、じゃが芋とよく混ぜ込む。
- ③形を整えスチコンで、過ぎるまで加熱する。
- ④みたらしレをかける。

スイートポテト【ヒューマンライフ富士】

【材料】

さつま芋 ……70g
牛乳 ……15cc
さとう ……8g
卵黄 ……3.5g
バター ……3g
卵黄 ……2g

【調理方法】

- ①さつま芋を蒸す。
- ②蒸した芋と、牛乳・さとう・卵黄・バターを混ぜる。
- ③天板にのせ、卵黄を上に乗って焼く。

きなこマドレーヌ【葵の里】

【材料】(1人分)

ホットケーキミックス…20g
マーガリン ……8g
黒砂糖 ……6g
きなこ ……5g
卵 ……15g
牛乳 ……10g

【調理方法】

- ①マーガリンと黒砂糖をよく混ぜ、卵を加える。
- ②ホットケーキミックスときなこも加え、よく混ぜる。
- ③牛乳を入れる。
- ④オーブン170℃で10～15分焼く。

きなこロール【はるかぜ】

【材料】

小麦粉……………10g
ベーキングパウダー……………0.7g
砂糖入りきなこ……………10g
卵白……………10g
砂糖……………8g
水……………9g
ホイップクリーム……………10g
甘納豆……………5g

【調理方法】

- ①ロールケーキ生地にきなこを入れ、焼き上げます。
- ②中のクリームには甘納豆を入れ、巻きます。

たこ焼き風あんこ入り【みくりや園】

【材料】

ホットケーキミックス……………200g
こしねりあん……………300g
牛乳……………150cc
卵……………1個
油
竹ぐし

【調理方法】

- ①ボールに卵と牛乳を入れよく混ぜる。
- ②①にホットケーキミックスを加え、さっくり混ぜる。
- ③たこ焼き器の穴に油をぬり、2/3程生地を入れプツプツしたらあんこを入れ、竹ぐしでひっくり返す。
- ④2~3回ひっくり返し火が通れば出来上がり。

みかん缶入りの牛乳かん【於保老健センター】

【材料】

みかん缶
牛乳
寒天

【調理方法】

- 【ミキサー】
- ①みかん缶の汁と牛乳、寒天を混ぜる。
- 【常食・きざみ・軟】
- ①みかんをつぶす。
 - ②牛乳、寒天、つぶしたみかんを入れる。
 - ③混ぜて、固まったら完成。

白玉入りお汁粉【ケアセンター芳川】

【材料】

白玉粉……………15g
つぶあん……………30g
さとう……………3g
塩……………0.1g

【調理方法】

- ①水の中につぶあん・さとう・塩を入れ、加熱し汁粉を作っておく。
- ②白玉粉に水を加えて耳たぶ位の柔らかさにして、一口サイズに丸めて、ゆでる。
- ③①の中にゆであがった白玉団子を加えて、でき上がり。



おやつ 三色おしるこ

三色おしるこ【みゆきの苑】

【材料】(1人分)

(乾)小豆……………20g
砂糖……………15g
さつま芋……………15g
(冷)白玉……………15g
丸八村松発注
旭松白玉団子

【調理方法】

- ①小豆は水に浸しておき、火をかける。1度ゆでこぼし、柔らかくなるまでアクをとりながら煮る。柔らかくなったら砂糖を入れる。
 - ②0.5cm角に切ったさつま芋を柔らかく煮る。
 - ③(冷)白玉は熱湯でさっとゆで、冷水にとる。
 - ④①に②・③を入れてでき上がり。
- ※お餅を提供できない時は、この白玉入りのおしるこは、大抵好評です。

スイートポテト【ケアセンターゆうゆう】

【材料】(1人分)

さつま芋……………50g
卵……………4g
さとう……………3g
バター……………2g
生クリーム……………1g

【調理方法】

- ①さつま芋を蒸す。
- ②鍋でバターを溶かしておく。
- ③蒸したさつま芋をフードプロセッサーでつぶす。
- ④つぶしたさつま芋に、卵・さとう・バター・生クリームをまぜ形をつくり、つや出しの卵を塗り焼く。

つや出し:
卵黄・みりん割割

フルーツのチョコレートかけ【さくら】

【材料】(3人分)

いちご……………8ヶ
キウイフルーツ……………1ヶ
バナナ……………1本
ミルクチョコレート……………70g
ホワイトチョコレート……………70g

【調理方法】

- ①いちごはきれいに洗って水けを切り、キウイフルーツは皮をむき一口大に切る。バナナは1本を6等分に切る(斜めに切るとよい)
- ②チョコレートは細かくけずり、ボールに入れて湯せんかけ、溶けたら湯せんからはずして1~2分冷まし、スプーンで果物の上にかける。おしるこはおやつができます。

※いちごは
小さかったら9ヶ

芋ようかん【エーデルワイス】

【材料】(1人分)

さつま芋……………20g
砂糖……………6.5g
水……………10ml
牛乳……………10ml
塩……………少々
ゼラチン……………0.75g

【調理方法】

- ①さつま芋は皮をむき、茹でてつぶしておく。
- ②牛乳に砂糖を加え、温めて、その中に水で溶いたゼラチンを加えて火を止める。甘さをひきたてるため、塩少々を入れて整える。
- ③①と②をよく混ぜ合わせて型に流し入れる。
- ④冷蔵庫に入れて冷やして固める。



おやつ マドレーヌ

マドレーヌ【タカネ園】

【材料】

小麦粉……………9g
マーガリン……………9g
砂糖……………9g
卵……………9g
ベーキングパウダー……………0.28g

【調理方法】

- ①卵と砂糖を泡立てる。
- ②マーガリンを①に加える。
- ③②にふるった小麦粉とB.P.を加えて混ぜる。
- ④160℃のオーブンで40分焼く。

そば茶羹の小豆かけ【アリス草薙】

【材料】(1人分)

麺類そば……………100g
イナアガー……………0.6g
上白糖……………4g
ゆで小豆缶詰……………20g

【調理方法】

- ①鍋に水を入れ沸騰させ、麺類そば茶を入れ(800ccに対して400gの麺類そば茶使用)煮出し、こす。
- ②砂糖、イナアガーを入れかきまぜバットに流し入れる。
- ③小豆缶をスプーンでかける。

里芋のみたらし団子【かくや富士】

【材料】(1人分)

【団子】
(冷)さといも……………50g
(a)だし汁……………20g
砂糖……………3g
塩……………0.2g
醤油……………0.5g
【タレ】
(b)水……………10g
砂糖……………2g
醤油……………2g
片栗粉……………0.5g

【調理方法】

- 【団子】
- ①さといもを(a)で煮る。
 - ②良く煮て、柔らかくなったら、あら熱をとり、プロセッサーにかける。
 - ③スプーン2本を使い、まるめながら盛り付けていく。
 - ※硬さによりとろみ剤を入れてまるめやすいかたにする。
 - ④タレをかけて完成。
- 【タレ】
- (b)の調味料をひと煮立ちさせ、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- 1人あたり/カロリー:52kcal 脂質:0.1g
蛋白質:0.9g 糖質:11.5g Ca:8mg

チーズ蒸しパン【焼津ケアセンター】

【材料】

ホットケーキMIX
卵
牛乳
砂糖
塩
ダイスチーズ
粉チーズ(上から振りかける)
パセリ(上から振りかける)

【調理方法】

- ①材料を混ぜ合わせる。
- ②バットに生地を流し入れ、上から粉チーズとパセリをふりかける。
- ③スチコン100℃に入れて蒸す。
- ④食べやすい大きさにカットする。

オレンジヨーグルト蒸しパン【ふれあいの下田】

【材料】(1人分)

ホットケーキミックス……………25g
オレンジジュース100%……………6g
ヨーグルト……………6g
卵……………6g
サラダ油……………2g
マーマレード……………6g

【調理方法】

- ①卵、ヨーグルトを加えて、混ぜる。
- ②①にホットケーキミックスを加えて粉っぽさがなくなるまで混ぜる。
- ③②に少しずつジュースを加えて混ぜる。
- ④天板にサラダ油を塗り、③を流す。その上にマーマレードをのせて蒸す。

〔栄養部会に参加して〕栄養士

各施設で困っている事などを、グループに分かれて意見交換した。御家族からの差し入れの管理やチェックはどのようにしているのか聞いてみました。

- 一回で食べられる量とお願いしてあるが、部屋からお菓子が出てくる。●通所の方同志でお菓子の交換をしている所を見つけてしまっても、注意するべきか迷う(利用者との信頼関係もある為)●体重管理をしている方に、どこまで規制したらいいのか、家族の意向(高齢なので好きな物を食べさせてあげたい)もあり悩んでいる。
- 家族が入所者の部屋で普段と違う形態の物を食べさせてしまうので危険。

どの施設も差し入れについて困っている事が多いが、何を差し入れたかという情報を入れてもらうくらいで、栄養士が直接部屋にチェックに入る事はしていませんでした。月に2回、ワーカーがチェックに入るなどの対応をしていました。

〈ノロウイルスについて〉職員に嘔吐の症状が出始めたが、どのような対応をしているか ●給食職員が給食室から出る時は、マスクと手袋を徹底させる。●ワゴンの取手などをスプレーで漂白する。

〈便秘の薬を飲む方が増えてきた為、食事で改善させてほしいと言われたがどうしたらいいか困っている〉●麦御飯、野菜など取り入れているが、効果が表れない。

- 食物繊維の粉末を使う方法もあるが、コストを考えると難しい。●おやつに飲み物を出す。工夫はしているが、食物繊維を多くするとエネルギーが不足したり、効果の表れにも個人差があるため難しい。

〈ケアマネジメントについて〉●体重が増えた方がいるが、体重が増えると介護が大変になる、栄養補助食品を購入する時のコストはどこから出すのかなど、多職種での協力があまり得られず苦労している。

〈ソフト食について〉●コスト、手間がかかる。人によっては飲み込みにくく、実施するのは難しい場合がある。

他施設のおやつ紹介では、餅を食べられない方にも好評だという、白玉を使ったお汁粉を参考にしてみたいと思いました。誕生会の時など、ミキサー食やみじん食の方にはいつも同じ様なおやつになってしまっているの、少しでも変化をつけて提供できたら喜んでいただけたらと思います。

〔栄養部会に参加して〕調理師

管理栄養士、栄養士の方々の部会という事で、専門用語、専門的な内容になると理解できない部分もありましたが、それぞれの施設の栄養士の方々の真摯な取り組み、中間的な立場にあつての苦悩や憤り、歯痒さ等、いずれの方々も、利用者さんに、気持ち良く過して頂く為に日々、頑張っているのだな、と強く感じました。

当施設では、野菜類は冷凍を使用せず、常に新鮮な野菜を使用しているという事は、他の施設に自慢できると思いました。私は、入所者、利用者の皆様に「おいしかったよ!」と言っていただけの食事を作るよう日々努力しつつ、管理栄養士、栄養士さん始め厨房の皆様に共に利用者様の為に、感謝と笑顔を忘れずに、これからも頑張っていきたいです。

〔研修に参加して〕支援相談員

地域でフォーラムを開催し、かなりの反響を呼んだという発表が気になりました。施設に地域の方を招く事ももちろん大事であるが、施設側から地域の町民センター等を借りて基調講演までしてしまう地域への熱意という、アピールは大変興味深いお話しであった。施設内研修・老健内研修も大切だが介護老人保健施設の理念と役割をより鮮明に地域住民に理解してもらうためにも老健が外部に向かって情報を発信する必要があるのではないかと考えさせられたいい機会となりました。

又、認知症の看介護に生じるスタッフの陰性感情についてという内面に掘り下げた興味深いテーマであった。日々余裕のない勤務状況で気持ちにゆとりがなくなってしまう、つい感情がでてしまう事は誰にでもありえる事である。いかに自分の感情をセルフコントロールするにはどうしたらいいのか、チームでどんなふうにして協力しあつてゆとりあるケアができるのか、考えさせられる発表であった。

〔看護・介護部会に参加して〕看護師

〈身体拘束グループディスカッション〉

各施設、限られたハード面の中で、身体拘束^ボに向けて努力していることが良くわかりました。

今後、ステップアップしていくためには、スピーチロック、ドラックロックについても考えていきたいという意見が出ました。どこまでが拘束でなくて、どこからが拘束だという線引きが難しく、個々のとらえ方も様々でした。利用者の方が、心地良い療養生活を送れるのであれば、拘束とはならないのではないかと話し合いました。各施設でスピーチロック、ドラックロックについての基準を自分たちで考えて持つことが必要であると思いました。

職種(CW・NS・Dr)によって身体拘束についてのとらえ方に差があるので、意識を統一して仕事をしていきたいという発表がありました。

〈各グループの発表〉

リスクマネジメント

- ・認知症の方の見守りについては、1~2名の職員を配置し他の仕事をせずに見守りだけに徹するようにする。
- ・夜間1H毎の巡視、要見守りの方30分毎の巡視にて事故が減少したとのこと。

〔栄養部会に参加して〕栄養士

今回、私のいたグループでは、「個人対応について」「低栄養の方への対応について」の2本の内容で主に話し合いが進められました。管理栄養士の方のお話を聞いていて思ったことは、栄養士だけでなく、調理師、調理員の方がとてもよくやってくれているなあ、と感心しました。野菜のポタージュのベースを作り、保存し、毎日違う味にして提供している施設や、栄養補助食品も手作りで毎日作っている施設、麺類も切り方からとろみ方法まで何通りもある施設、汁物は片栗粉ととろみの粉を使い分けてもらっているという施設もあり、細かく対応していてすごいと感心しました。

利用者の方に、安全で栄養があり、おいしい食事提供ができるように私たち厨房も気持ちを高めていかなければいけないと改めて感じました。ひと口でも多く食べて頂ける食事を提供する。それが、マネジメントにも繋がっていくのではないかと思います。

〔研修に参加して〕支援相談員

職員研修発表会では8演題の発表があった。今回は、医師、看護師、作業療法士、介護福祉士、などの他職種にわたる演題発表で、様々な視点からの発表を聞くことの出来る貴重な研修であった。

特に印象に残った発表としては「レクリエーションから始まった取り組み」である。入所利用者の居住空間を上手に活用して、障害物を設置した(サーキット・トレーニング)については、当施設においても独自のアレンジのうえで、活用が期待される内容であった。レクリエーションの本来の目的である娯楽・運動機能維持・精神面の活性の三大要素を取り入れた活動であると感じた。その他の演題も、各施設の前向きな取り組みが表されている内容であった。今回の研修を機に、改めて日々の業務での工夫や積極的な取り組みをしたいと感じた。

【ヘルパー講座受講生】

お世話になりました。介護老人施設に、行くのも見るのもはじめてだったので、正直な所驚きあり、感心あり、いろいろ考える事がありました。

健康な人同士で、学習した知識だけでは、介護の現場ですぐにできる仕事ではないと思いました。認知症の方々と接する時は戸惑いもありましたが、元気で高齢な入所者の方々は、パワーをもらう様な感じでした。とにかく「すごい」仕事だと思いました。

職員の方はテキパキと仕事をこなし、入所者の方々の様子や症状により対応し、名前も覚えていて、実習生の面倒もみる、何でもできる方だと思いました。

【ヘルパー講座受講生】

トイレ介助・おむつ交換を初めて目にしました。動こうとする人の体を支えながらの処置を一人で次から次へとこなしていく職員の手際良さや努力に感心しました。入浴・食事介助にしても、一人一人を把握していればこそできることであり職員の仕事に対する情熱に驚き、尊敬致しました。又、家族の方々にとっても、このような施設があることは心の支えになっていると思います。

2日間の実習を通して、最後まで人間らしく生活することができるということの大切さを知り、また、そうしてあげなくてはならないということを感じました。

担当職員の方は初日、オリエンテーションから施設の案内、その後忙しい中でいろいろ親切に指導をしていただきました。同じ階の職員の方にもお礼を言っていた、礼儀正しさに感心しました。お忙しい中での御指導に感謝致します。

ありがとうございました。

【中学2年生のレポート】

職場体験では、お忙しいところを大変お世話になりました。ふだんお年寄りの人とふれ合う事がないのでとても楽しかったです。いっぱいいろいろな事を話したり、おふろから出て来た人の髪をかわかしてあげたり、一緒に体操をやったりいろいろな体験をやらせていただきました。ドライヤーをかけ終わると「ありがとう！」など感謝の言葉をくださったお年寄りもいてうれしい気持ちになりました。

ふだんも、感謝の言葉は聞きますが、ここまでうれしい気持ちになったのは、はじめてだと思います。ドライヤーがかけ終わったら、あるおじいさんがパズルのパーツをどこに置くのかわからなくなっていました。なので、私はそのおじいさんと話をしながらパズルをやりました。おじいさんは、目が悪いらしくパズルのパーツに書いてある字が読めなかったみたいです。そのおじいさんは、1つ1つパズルの場所を教えると「ありがとう！」や「たすかるよ！」などと言われました。とてもうれしくお思いました。

体操では、先生が来てお年寄りの人々とまざって体操をやりました。ボールなども、使いました。お年寄りの中でも、片手が使えない人もいたけれど上手にボールを先生に向かって投げたりしていました。片手使えない人でも、がんばろうという気持ちを持っていればできるという事を知りました。この職場体験で、人のがんばりや感謝の言葉を聞いたりするとつかれたりしていても、がんばろうという気持ちを持てる事を知りました。私も、お年寄りもめんどろをみれるような人になりたいです。ほんとうにありがとうございました。

【中学2年生のレポート】

僕はこの職場体験で施設にいるたくさんのおじいさん、おばあさんと話をし、いろいろなことを教えてもらいました。施設にいる人たちは、みんなとても元気で楽しかったです。おじいさん、おばあさんは、僕に昔のことや、自分の孫のことや、絵のことなど、たくさん話をしてくれました。その中で一番おもしろかったのは、戦争のときの話です。その話をしてくれたおじいさんは台湾で生まれて、僕と同じ14歳のときに、兵隊になったと聞いて、とてもおどろきました。他に、しいたけの色をぬっているおばあさんと話をしました。とても上手に色をぬっていました。

最初僕は、施設の仕事はもっと楽な仕事かと思っていました。でもやってみると、あまり休むこともなくて、ずっと立っていたので、すごく大変でした。この仕事の大変さと、楽しさがとてもよくわかりました。ほんとうに、ありがとうございました。

中学生職場体験学習レポート

【中学2年生のレポート】

私は、職場体験を通じて、施設で生活しているおじいさん、おばあさんの日常生活を支援することができました。おじいさん、おばあさんは手や足が自由に使えない方が多く、どのように接して、お手伝いをすれば良いか、初め、不安でした。でも、職員の方たちが優しく、わかりやすく仕事のやり方を教えてくださって、とても嬉しかったです。

仕事をやっているうちに、おじいさん・おばあさんたちと、お話をしたり、いろいろと質問されることがあり、仕事への不安を消すことができたと思います。得に、仕事をしていて、一番心に残ったことは、おじいさん、おばあさんたちに自分の名前を覚えてもらえたことや、帰る時に「ありがとう」・「また来てね」と言われたことが、とても嬉しく思いました。職場体験ができて、良かったです。

ほんとうにありがとうございました。

【中学2年生のレポート】

先日は、職場体験させていただき、ありがとうございました。私は施設に、人とかかわる仕事がしたいと考えて行かせていただきました。最初は大変そうだなと思いながらの初仕事でした。でも、相手からいろいろな話をしてくれてみんなが、笑ってくれたりした時本当にうれしかったです。そして最初は大変だと思っていた仕事が楽しくなってきました。何をしても楽しくてみなさんがよくこんでくれたりした時はすごく頑張れました。戦争経験のある方がたもいて私に戦争の話をしてくれた方もいました。社会科の勉強で少しやったことはありますが、実際に体験された方がたに教えてもらったのは、もっとげんじつ的で本当にそんなことがあったなんておそろしいと思いました。今の日本は戦争がなくなりとても豊かな生活ができています。すごい生活で平和になってよかったなと思いました。私はこの平和な日々が続けばいいなと思っています。

施設はレクリエーションがありとても楽しかったです。四季折々のものがあり毎日が楽しそうに見えました。全員と話はできませんでしたが、とても楽しく体験させていただきました。いろいろとめいわくをおかけしたと思いますが、たくさんの方の事を学ばせてもらいありがとうございました。

実地研修受講者レポート

【介護職員】

●目的の達成

- ・業務内容の確認と共に向上の為の知識習得
- ・他施設の業務管理及現状の把握
- ・自分のかかえていく問題の解決にむけての研修上記の事について多くの疑問点を質問させていただき、参考にさせていただける事が多くありました。

●カリキュラム

講義の内容については大変勉強になり、疑問についても的確に答えていただきました。実習についても時間内で対応し、又、業務内容に対する詳細についても聞かせていただき感謝しております。

●感想

根拠に基づき色々な面での対応、検討をしなければならぬ事に気づかされました。自分自身の意識改革の必要性、これから方向づけをさせていただき、自分の経験だけの狭い知識の中でもないでいる自分をほつきりと感じ、勉強の必要性を感じ、又、意欲につなげてゆこうと思います。自分の現状の中で手がけられる問題からとくんで行こうと思います。

【看護師】

●目的の達成

老健施設とは求められているものを、他施設でどのようにされているか、研修させて頂きました。看護・介護の協働が利用者さんにとって安心して過ごされている事を学ばせて頂きました。(雰囲気より)

●カリキュラム

内容・時間についても適切であったと思います。

●感想

- ・教育について、目標管理手法を取り入れているとの事でした。当施設でも面接方法も実践しつつ看介の質向上にむけ、職員一人一人が生き生き仕事ができたらと思いました。
- ・職場の雰囲気さわやかで好感がもてました。利用者さん職員の表情がおだやかでした。
- ・少人数の研修者にいていねいに関わっていただき、ありがとうございました。

【介護福祉士】

●目的の達成

自分の知識をあげるため、新しいことを学ぶ。達成できました。

●カリキュラム

講義内容はとても良かった。実技については、いつも業務に占められる一日だったため、楽しく実施してもらいました。説明がとてもわかりやすかったです。

●感想

講義中、講師の方がしっかりと意見を聞いてくれ、それにしっかりと答えてくれたため、とても勉強になりました。

【介護職員】

●目的の達成

他施設の取り組みや、実際のケアの内容を体験させていただき、自分達の施設の業務に生かしたい。又、自分自身のケアの質の向上を目指したい。

●カリキュラム

実際の介護場面に役立つ内容が多く、とても興味深いものでした。

●感想

とても勉強になりました。実際に利用者様に接して、話をさせていただき、ケアの内容を体験させてもらい、楽しい時間を過ごす事もできました。

平成20年度 職員研修発表会

◆第1回 職員研修発表会の演題◆

(平成20年9月30日 静岡県総合社会福祉会館「シズウェル」)

- *「安全で、効率よい口腔ケアを」 [アポロン]
- *「レクリエーションから始まった取組」
～利用者様のニーズに応える試みの模索～ [芙蓉の丘]
- *「K氏の残存機能の活用を通して学んだこと」
～オムツからトイレ誘導への転換～ [あ み]
- *「排泄ケアのみなおしからQOLの向上をめざす」 [あ み]
- *「“老健発、地域フォーラム開催”の経験」
～私たちをもっとよく知ってください～ [ユニケア岡部]
- *「かわりの力」
～コミュニケーションを通して利用者の表情が変わった～ [アポロン]
- *「認知症の看介護に生じるスタッフの陰性感情について」
～その改善への取組み～ [ヒューマンライフ富士]
- *「クッキング～がしたい!!」
～通所リハでの料理がもたらしたもの～ [白梅ケアホーム]

◆第2回 職員研修発表会の演題◆

(平成21年2月27日 静岡県総合社会福祉会館「シズウェル」)

- *「ケアの本質を探る」 [西山ウエルケア]
- *「認知症高齢者の園芸活動への取組み」
～バルコニーガーデンin白梅豊岡ケアホーム～ [白梅豊岡ケアホーム]
- *「メロンフロアーの環境を整え利用者、スタッフ共に
穏やかに過ごせるにはどうしたら良いか？」 [天王介護老人保健施設]
- *「真空調理っておいしい?！」 [えいせい掛川介護老人保健施設]
- *「認知症専門棟における不穏症状改善への取組み」
～園芸作業を通して～ [グリーンヒルズ藤枝]
- *「利用者様のニーズに合わせた生活意欲の向上UP」
～個別誕生日会について～ [花平ケアセンター]
- *「地域で一緒にすごす」
～私達が大切にしていること～ [ユニケア岡部]
- *「食物繊維摂取による便秘改善をめざして」 [梅名の里]
- *「立ち止まろう、向き合おう、考えよう」 [入野ケアセンター]
- *「朝のレクリエーションを導入して」
～朝の目覚まし時間～ [すずかけの街]

平成20年度 静岡県老人保健施設協議会 事業報告

平成20年		
4月10日	幹事会	浜松市
5月8日	第4回 東海・北陸ブロック老健大会 応援スタッフ事前打合せ会	浜松市
5月12日	第4回 東海・北陸ブロック老健大会 責任者オリエンテーション	浜松市
5月22日～23日	第4回 東海・北陸ブロック老健大会 60演題中静岡県11演題	浜松市
6月5日	平成20年度 静岡県老人保健施設協議会 定期総会	静岡市
6月6日	全国老人保健施設協会 第1回支部事務担当者会議（事務局長出席）	東京都
6月20日	全国老人保健施設協会 代議員会及び総会（支部長出席）	東京都
8月27日	全国老人保健施設協会 第2回支部長会（支部長出席）	京都府京都市
8月27日～29日	第19回全国介護老人保健施設 京都大会（座長4名派遣）	京都府京都市
9月30日	第1回 職員研修発表会 8演題発表	静岡市
10月14日	第1回 栄養部会 研修会	静岡市
10月24日	第5回 東海・北陸ブロック老健大会打合せ会（事務局長出席）	富山県高岡市
11月5日	幹事会	静岡市
12月8日	東海・北陸ブロック代表者会（事務局長出席）	愛知県名古屋市
12月9日～10日	1泊実務者連絡会	熱海市
12月22日	第1回 看護・介護部会 研修会	静岡市

平成21年		
2月16日	第2回 栄養部会 研修会	静岡市
2月24日	第1回 機関誌「老健しずおか」編集会議	静岡市
2月24日	第2回 看護・介護部会 研修会	静岡市
2月27日	第2回 職員研修発表会 10演題	静岡市
3月19日	第2回 機関誌「老健しずおか」編集会議	静岡市
3月22日	第1回 リハビリ部会 研修会	静岡市

その他

■平成20年度 新規加入施設：4施設

えいせい掛川、エスコートタウン静岡、サンビューみしま、かぐや富士

■平成20年度 退会施設：2施設

はまなこ介護老人保健施設、ヒルズかどいけ

■合計加入施設数：92施設

県内老人保健施設地区別所在地案内

各施設の窓口が直接利用のご希望をお受けいたします。

まずはお気軽にお電話下さい。

東部地区

リ バ ブ ル ケ ア	〒418-0105 富士宮市原682	TEL (0544) 54-1800
タ カ ネ 園	〒410-0305 沼津市鳥谷611-1	TEL (055) 967-8800
み く り や 園	〒412-0042 御殿場市萩原354-1	TEL (0550) 83-3567
ヒューマンライフ富士	〒417-0801 富士市大淵3901-1	TEL (0545) 36-0511
富士ケアセンター	〒418-0035 富士宮市星山1129	TEL (0544) 22-3111
安 寧 の 郷	〒410-2315 伊豆の国市田京1258-44	TEL (0558) 76-8100
梅 名 の 里	〒411-0816 三島市梅名578	TEL (055) 977-8686
長泉ケアセンター博寿園	〒411-0945 駿東郡長泉町本宿418-1	TEL (055) 989-1121
お お ひ ら	〒410-0821 沼津市大平1117-1	TEL (055) 934-1165
あ す な ろ	〒412-0045 御殿場市川島田1076-2	TEL (0550) 88-0007
熱海ナーシングホーム翔寿園	〒413-0002 熱海市伊豆山字七尾原1173-172	TEL (0557) 80-3712
き き よ う の 郷	〒416-0946 富士市五貫島175	TEL (0545) 65-2000
ラ・サンテふよう	〒411-0047 三島市佐野1205-3	TEL (055) 989-7000
の ゑ み	〒414-0001 伊東市宇佐美2405-2	TEL (0557) 48-0658
み ゆ き の 苑	〒418-0005 富士宮市宮原337-4	TEL (0544) 28-3900
河 津 お も と 苑	〒413-0502 賀茂郡河津町川津筏場1512-18	TEL (0558) 35-7770
し お さ い	〒410-3514 賀茂郡西伊豆町仁科243-1	TEL (0558) 52-3000
な ぎ さ 園	〒415-0152 賀茂郡南伊豆町湊674	TEL (0558) 62-6800
ひ ろ み	〒417-0801 富士市大淵39-1	TEL (0545) 21-6600
グリーンズ修善寺	〒410-2413 伊豆市小立野100-2	TEL (0558) 74-3300
サ ン 静 浦	〒410-0106 沼津市志下344-1	TEL (055) 934-6000
椎 路 の 里	〒410-0302 沼津市東椎路32-1	TEL (055) 927-3900
夢 の 樹 の 郷	〒411-0902 駿東郡清水町玉川183-1	TEL (055) 971-1000
みしゅくケアセンターわか葉	〒410-1107 裾野市御宿1475	TEL (055) 997-8181
い か る 野	〒418-0105 富士宮市原709	TEL (0544) 54-3200
み は ら し	〒414-0055 伊東市岡187	TEL (0557) 37-3804
ふれあいの下田	〒415-0013 下田市柿崎32-10	TEL (0558) 27-0700
い と う の 杜	〒414-0002 伊東市湯川288-9	TEL (0557) 35-4165
サンビューみしま	〒411-0801 三島市谷田字藤久保2276	TEL (055) 983-6050
か ぐ や 富 士	〒417-0826 富士市中里2546-7	TEL (0545) 32-2150

中部地区

ケアセンター瀬名	〒420-0903 静岡市葵区長尾39-5	TEL (054) 264-2221
あ か つ き の 園	〒424-0917 静岡市清水区駒越2883-1	TEL (054) 334-5533
ケア・センターひまわり	〒424-0934 静岡市清水区村松原1-2-34	TEL (054) 336-3033
焼津ケアセンター	〒425-0062 焼津市中根新田1315	TEL (054) 623-8111
コミュニティケア高草	〒425-0005 焼津市方ノ上358-1	TEL (054) 627-5588
サンライズ大浜	〒422-8045 静岡市駿河区西島528	TEL (054) 282-2839
楽 寿	〒421-2115 静岡市葵区与左衛門新田98-11	TEL (054) 296-1112
こ み に	〒420-0963 静岡市葵区赤松8-16	TEL (054) 209-7000
ケアセンターゆうゆう	〒425-0052 焼津市田尻4	TEL (054) 625-0321
カリタス・メンテ	〒426-8662 藤枝市水上123-1	TEL (054) 643-1266
グリーンヒルズ藤枝	〒426-0133 藤枝市宮原420-1	TEL (054) 639-1234
エ コ ト ー プ	〒428-0007 島田市島534-1	TEL (0547) 45-0111
ア ポ ロ ン	〒427-0047 島田市中溝町1714-1	TEL (0547) 34-2000

中部地区

アリス草薙	〒424-0886	静岡市清水区草薙424-7	TEL (054) 347-6511
萩の里	〒422-8018	静岡市駿河区西大谷12-5	TEL (054) 236-1155
はるかぜ	〒421-0514	牧之原市菅ヶ谷1240-1	TEL (0548) 52-7771
きよみの里	〒424-0203	静岡市清水区興津東町1829	TEL (054) 369-7700
葵の里	〒421-0135	静岡市駿河区小坂376-1	TEL (054) 257-2281
芙蓉の丘	〒421-3306	富士市中之郷2500-1	TEL (0545) 56-2311
あみ	〒421-2109	静岡市葵区福田ヶ谷73-2	TEL (054) 206-1777
コミュニティーケア吉田	〒421-0302	榛原郡吉田町川尻1700-1	TEL (0548) 34-5577
さくら	〒427-0011	島田市東町1331	TEL (0547) 33-0800
マインド	〒426-0075	藤枝市瀬戸新屋487-2	TEL (054) 643-3601
フォレスタ藤枝	〒426-0033	藤枝市小石川町2-8-13	TEL (054) 647-3833
かりん	〒421-0105	静岡市駿河区宇津ノ谷1-1	TEL (054) 268-6666
ケアセンター池田の街	〒422-8005	静岡市駿河区池田185-1	TEL (054) 267-2211
鶴舞乃城	〒424-0114	静岡市清水区庵原町3158	TEL (054) 361-1234
ユニケア岡部	〒421-1131	藤枝市岡部町内谷1473-3	TEL (054) 667-5555
エスコートタウン静岡	〒420-0821	静岡市葵区柚木90-1	TEL (054) 267-1010

西部地区

西山ウエルケア	〒432-8001	浜松市西区西山町411-2	TEL (053) 485-5500
三方原ベテルホーム	〒431-1304	浜松市北区細江町中川7421-1	TEL (053) 436-6600
みっかび東介護老人保健施設	〒431-1404	浜松市北区三ヶ日町宇志34-1	TEL (053) 524-2000
都ケアセンター	〒431-2102	浜松市北区都田町7555-52	TEL (053) 428-3133
なかよし	〒438-0838	磐田市小立野135-1	TEL (0538) 34-6543
エーデルワイス	〒434-0041	浜松市浜北区平口2405	TEL (053) 585-1500
ハイマート有玉	〒431-3122	浜松市東区有玉南町1436	TEL (053) 434-7877
白梅ケアホーム	〒431-1112	浜松市西区大人見町3011-1	TEL (053) 485-7711
入野ケアセンター	〒432-8061	浜松市西区入野町6417	TEL (053) 440-1200
於保老健センター	〒437-1216	磐田市一色26	TEL (0538) 58-2550
エバーグリーン掛川	〒436-0043	掛川市大池680	TEL (0537) 21-0550
すずかけの街	〒430-0918	浜松市中区八幡町181	TEL (053) 476-1156
さいわい	〒431-3423	浜松市天竜区渡ヶ島221	TEL (053) 583-1156
おおふじ五幸ホーム	〒438-0002	磐田市大久保508-3	TEL (0538) 38-5511
さくらの苑	〒438-0074	磐田市二之宮字仙水1162	TEL (0538) 33-3800
神子の園	〒436-0084	掛川市逆川100	TEL (0537) 20-0080
袋井ケアセンター	〒437-0003	袋井市萱間933-1	TEL (0538) 49-4911
まんさくの里	〒431-0422	湖西市岡崎1353-1	TEL (053) 572-3911
はまおか	〒437-1688	御前崎市池新田2070	TEL (0537) 86-8822
花平ケアセンター	〒431-2211	浜松市北区引佐町花平708	TEL (053) 542-4187
白脇ケアセンター	〒430-0846	浜松市南区白羽町1424	TEL (053) 444-3131
みかたはら介護老人保健施設	〒433-8105	浜松市北区三方原町675-6	TEL (053) 438-5886
ケアセンター芳川	〒430-0838	浜松市南区岸野町24	TEL (053) 426-0003
天王介護老人保健施設	〒435-0051	浜松市東区市野町2495	TEL (053) 423-1070
あおばケアガーデン	〒437-1302	掛川市大淵4345	TEL (0537) 48-0002
風の杜	〒437-0214	周智郡森町草ヶ谷104-1	TEL (0538) 85-1121
さわだの庄	〒439-0037	菊川市西方5511	TEL (0537) 35-8889
白梅豊岡ケアホーム	〒438-0126	磐田市下神増183-1	TEL (0539) 62-1601
ナーシングホームオンフルール	〒437-0023	袋井市高尾1439-3	TEL (0538) 45-0080
五洋の里	〒438-0234	磐田市掛塚3190-1	TEL (0538) 67-1755
長鶴の郷	〒435-0031	浜松市東区長鶴町290	TEL (053) 423-2700
あらたま	〒434-0004	浜松市浜北区宮口3152	TEL (053) 582-3211
えいせい掛川介護老人保険施設	〒436-0342	掛川市上西郷8021	TEL (0537) 20-1611

介護老人保健施設の理念と役割



介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

● 5つの役割と機能 ●

1

■ 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2

■ リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3

■ 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4

■ 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5

■ 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

静岡県老人保健施設協議会

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町3011番地の1

介護老人保健施設 白梅ケアホーム 内

TEL<053>485-7711 FAX<053>485-7712

<http://www.rouken-shizuoka.jp/>